

官

報

號外

明治三十二年三月七日 火曜日

印 刷 局

○第十三回 帝國議會 貴族院議事速記錄第四十一號

明治三十二年三月六日(月曜日)午前十時十八分開議

議事日程 第四十一號 明治三十二年三月六日

午前十時開議

第一請願委員長報告

第二岡山縣下郡廢置法律案(政府提出案)

第三右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案

第五右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六刑事訴訟法中改正法律案(政府提出案)

第七國籍喪失者ノ権利ニ關スル法律案

(政府提出案)

第八葉煙草專賣法違犯事件ニ關スル法律案

(政府提出案)

第九外國人ノ抵當權ニ關スル法律案(政府提出案)

(衆議院)

第十水難救護法案(政府提出案)

(衆議院)

第十一府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關

第十二スル法律案(衆議院提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十三議員ノ選舉及被選舉資格ニ關スル

法律案(十三名發議)

第十四東海道鐵道複線工事速成ノ請願

第十五衆議院議員選舉法改正ノ請願

動產抵當銀行設立ノ請願

家祿及族籍ニ關スル請願

第十九鐵毒被害地堤塘至急增築ノ請願

第二十鐵毒被害町村自治體救治ノ請願

第二十一河川法改正ノ請願

第二十二國債金ノ一部(教育基金ニ充ル)ノ請願

第二十三市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法改正

第二十四正請願

○議長(公爵近衛萬曇君)是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

一昨四日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日衆議院ニ送付シ

タリ

明治二十三年法律第九十號中改正法律案

明治二十三年法律第九十一號中改正法律案

明治二十九年法律第十三號中改正法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日衆議院ニ回付シタリ

府縣制改正法律案

郡制改正法律案

同日本院ニ於テ衆議院提出明治三十年法律第十四號關稅定率法中改正法律

案ヲ否決シタル旨衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

岡山縣下郡廢置法律案

製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案

正法律案ニ同意シ奏上セル旨通牒ヲ受領シタリ

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領シタリ

順稅法案

右案ニ付本院ハ貴族院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第

五十五條ニヨリ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治三十二年三月四日

貴族院議長公爵近衛篤麿殿
本院ハ頓稅法案協議會委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也
明治三十二年三月四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿
各委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

遺失物法案特別委員會

委員長子爵入江爲守君

副委員長山脇玄君

耕地整理法案特別委員會

委員長子爵林友幸君

副委員長名村泰藏君

廣島縣下系崎港ヲ輸出入港ト指定スル

副委員長子爵久世通章君

官立農事試驗場ノ支場ヲ廢シ府縣立農事試驗場ノ國庫補助費ヲ増加スル

ノ建議案特別委員會

委員長侯爵松平康莊君

副委員長周布公平君

○議長(公爵近衛篤麿君) 唯今報告ヲ致シマシタル頓稅法案ノ協議會ノ委員

ヲ選定スル必要ガアリマス

○子爵小笠原壽長君 唯今ノ兩院協議會ノ委員ハ矢張衆議院通貴族院モ十名
ト致シマシテ其選舉ハ議長ニ御委託致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ其通ニ致シマス、是ヨリ本日ノ日
程ニ移リマス、第一請願委員長報告

○岡内重俊君演壇ニ登ル
○岡内重俊君(請願委員會ノ結果ヲ報告致シマスル、去ル二十七日報告ヲ致
シマシタ以來一昨四日マデニ受領致シマシタル請願ノ件數ハ八十六件ゴザイ
マスル、茲ニ進行ノ都合ニ附キ第七回第八回取束ネテ御報告ヲ致シマスル、
文書表第七回ノ報告ニ掲ゲマシタル數ハ五十一件デアリマスル、其中院議ニ
付スベシト決シタル數ハ三十三件、院議ニ付スルヲ要セズト決シタル數ハ十
八件アリマス、又第八回ノ報告ニ載セマシタル數ハ四十一件、内院議ニ付スベ
シト決シタル數ハ三十一件、院議ニ付スルヲ要セズト決シタル數ハ十一件デ
アリマスル、此七回八回ノ報告ヲ取束ネテ同一事件ニ關聯シテ居ル分ヲ除キ
マシテ本日ノ議事日程ニ二十七件載シテ居リマス、尙ホ議決ノ際削除ヲ要求
スルモノアリマス、ソレハ其トキニ至シテ要求致シマス、此段ヲ報告致シ
マス

○議長(公爵近衛篤麿君) 岡山縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付、第
一讀會

(小原書記官朗讀)

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十二年三月四日

貴族院議長公爵近衛篤麿君

衆議院議長片岡健吉

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
岡山縣下郡廢置法律案

岡山縣美作國勝北郡及勝南郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ勝田郡ヲ置ク
岡山縣美作國西西條郡、西北條郡、東南條郡及東北條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以
テ苦田郡ヲ置ク

岡山縣美作國勝北郡及勝南郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ勝田郡ヲ置ク
岡山縣美作國英田郡及吉野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ英田郡ヲ置ク

岡山縣美作國久米北條郡及久米南條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ久米郡ヲ置ク
岡山縣備前國御野郡及津高郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ御津郡ヲ置ク

岡山縣備前國赤阪郡及磐梨郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ赤阪郡ヲ置ク
岡山縣備中國小田郡及後月郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ月田郡ヲ置ク

岡山縣備中國下道郡及賀陽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ賀下郡ヲ置ク

岡山縣備中國上房郡及川上郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上川郡ヲ置ク

岡山縣備中國哲多郡及阿賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿哲郡ヲ置ク

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス
(衆議院修正)

岡山縣美作國勝北郡、勝南郡、英田郡及吉野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ赤磐郡ヲ置ク
(政府委員深野一二君演壇ニ登ル)

○政府委員(深野一二君) 岡山縣下郡廢置法律案ハ是ハ郡制實施上ニ於キマ
シテ必要已ムヲ得ザル法律デゴザイマスルデドウカ速ニ御協贊ヲ願ヒマス
○千阪高雅君 此際ニ當ッテチヨット政府委員ニ尋ネタウゴザイマスルガ
○政府委員(深野一二君) 御答ヲ致シマスガ是ハ外ノ各郡ト比較致シマシテ
モ政府委員(深野一二君) 御答ヲ致シマスガ是ハ外ノ各郡ト比較致シマシテ
モ政府案ヲ通ニナリマス方ガ餘程適當デアラウト思ヒマス、併ナガラ此衆議
院ノ修正ノ通ニ致シマシテモ行政上ニ差支ハ別段ナイト認メマス、併ナガラ
政府ハ成ルタケ原案ノ通ニナルコトヲ希望致シマス
○千阪高雅君(ドウモ今ノハシツカリ分リマセヌガ、然ラバ政府ニ於テハド
チラノ方ニシテモ宜トイト云フ御趣意デゴザイマスカ
○政府委員(深野一二君) 政府ハ原案ノ方ヲ希望致シマス

○千阪高雅君(ドウモ之ニ不不同意ヲ):

○政府委員(深野一二君) 絶對的ノ反対ハ致シマセヌ、此廢置案ノ如キハ詰
リ絶對ニ反対シテ是デハナラスト云フヤウナ考デハアリマセヌ

○千阪高雅君(然ラバ政府ハ政府案ノ通ニナルコトヲ希望スルト云フ御趣意
デアリマスルカ

○政府委員(深野一二君) 左様デゴザイマス

○高橋喜惣治君(序ニ政府委員ニチヨクト御開キ申シタイ、ドウモ郡ノ廢置
ノコトニ附イテハ往々後カラ苦情が起シテ参リマスルガ是ハ大丈夫苦情ハゴ

ザイマセヌカ

○政府委員(深野一二君) 唯今ノ御尋ハ苦情ハナイカトノ御尋デアリマスカ

ハイ

高橋喜惣治君

政府委員(深野一三君) 政府ニ於キマシテハ別ニ何モ開キマセヌ

高橋喜惣治君 其邊ハ更ニ御開キハナイノデアリマスルカ

政府委員(深野一三君) 何モ開キマセヌ

高橋喜惣治君 是ハ不都合ハナイト御認メニナツタカラデスカ

○伯爵勸修寺顯允君 委員ハ議長ノ選定ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 御異議ガナクバ議長ニ於テ選定致シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

○伯爵勸修寺顯允君 委員ハ議長ノ選定ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

○伯爵勸修寺顯允君 委員ハ議長ノ選定ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

○伯爵勸修寺顯允君 委員ハ議長ノ選定ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

○伯爵勸修寺顯允君 委員ハ議長ノ選定ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

○伯爵勸修寺顯允君 委員ハ議長ノ選定ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

○伯爵勸修寺顯允君 委員ハ議長ノ選定ヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) (賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

右貴院ノ送付ニ係ヘ政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十條ニ依リ及回付候也

明治三十二年三月三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤曆殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第六十八條 被告人ハ豫審中何時ニテモ辯護人ヲ用ユルコトヲ得

被告人ノ法律上代理人ハ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

檢事又ハ辯護人ハ豫審中何時ニテモ豫審判事ニ請求シテ訴訟記録ヲ閱覽スルコトヲ得又必要ナリトスル處分ニ付キ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得

第九十一條中「被告人」ノ下ニ「又ハ辯護人」ノ五字ヲ挿入ス

第九十二條末項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

豫審判事ハ檢事若クハ辯護人ノ請求ニ因リ臨檢及證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ立會ハシム可シ

前項ノ場合ニ於テ檢事若クハ辯護人ハ證人又ハ鑑定人ニ對シ訊問ヲ爲ス可キコトヲ豫審判事ニ請求スルコトヲ得

第一百四十九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第百四十九條ノ二 本節ノ豫審手續ニ付テハ第六十八條第一項第九十二

條第五項及第六項ノ規定ヲ適用セス

○金子堅太郎君 此刑事訴訟法改正案ニ附イテハ衆議院ノ意見ト本院ノ意見ト違ッテ居リマシテ、今度衆議院ヨリ送付ニナツタニ附イテ意見ヲ述べタウ

ゴザイマスガ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) コレニ附イテデゴザイマスカ

○金子堅太郎君 (ハイ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 宜シウゴザイマス

(金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○金子堅太郎君 諸君、此衆議院回付ノ議案ニ附キマシテハ私ハ本議案ノ議

事ニ聊カ意見ヲ陳述致シタイト存ジテ居リマシタ所ガ料ラズ討論終局ノタメ

ニ私ノ意見ヲ陳述スルコトガ出來ズ、衆議院ヨリ回付ノ場合ニ於テ吾輩ノ意

見ヲ述ベテ諸君ノ清聰ヲ濱スノハ誠ニ私ハ遺憾ニ存ジマスル、又一度貴族院

ノ院議ヲ以テ決シタモノヲデス、衆議院ノ修正ガアツテコチラヘ戻ッテ來ル

トキニ本院ノ決議ノ上ニ修正ノ加ツテ居ルノニ我輩が贊成フシ、本院ノ決議

ノアルニモ拘ラズ我輩が此衆議院ノ回付案ヲ贊成スルト云フハ誠ニ貴族院議

員トシテ苦シイ地位ニ立チマスケレドモ此問題タルヤ國家重要ノ問題ニア

ル、否唯今文明國ノ一ノ議論トナツテ居ル大問題デゴザイマスカラ暫ク諸君

ノ清聰ヲ濱シテ此際ニ當ツテハコレマテノ御決議ノアルニモ拘ラズ更ニ公平

ナルヤコレハ刑法及治罪法、當時ハ刑事訴訟法ト申シマスガ、刑法刑事訴訟

法ニ附イテノコレハ大問題デアツテ餘程ノ問題ソレ自身スラ重大ノ問題デア

ル、況ヤ此コトハ司法大臣ノ演説ニモゴザイマス通條約實施ノ準備ノコトア

アルヤコレハ是ヲ爰デ實施シテ我國ガ文明國ノ仲間入ラシテ我國ガ泰西ノ文明ノ制

度ニ基イテ内外共ニ此國ニ於テ和親ノ實ヲ舉げ親交ノ目的ヲ達スルト云フ大

時機アリマスカラ、私ハ一言意見ヲ申述ベタ、既ニ此刑事訴訟法ノ問題ニ附キ又内地ノ此被告人ヲ取扱ウ點カラ豫審ニ辯護人ヲ置クノ必要ト云フ點ニ至ッテハモウ十分皆サン御承知ノコトデ、内地ノ被告人ノ取調ノ方法、治罪法ノ原則カラ豫審ニ辯護人ヲ置クノ可否ニ附イテハ私ハ今更喋々ハ致シマセヌ、コレハモウ十分盡キテ居ル、ワレヲ私ガ何ガ故ニ此豫審ニ辯護人ヲ置クト云フ、コトヲ贊成スルカト云フニ附イテハ第一私ハ事實ヲ陳述シテ諸君ノ御聞ニナツテ居ルカモ分リマセヌガ未ダ御聞ニナラズニ居リマスレバ其事實ヲ申上げテ此案ニ御贊成ヲ請ヒタイ、今此事實ヲ申上げタラバ此豫審ニ辯護人ヲ置クト云フコトノ必要ヲ御考ニナラウト思ヒマスカラ私ハ一言ソレヲ申述ベタ、抑々明治二十年以來條約改正ト云フコトヲ明治政府ガ歐米諸國ニ通知スルヤ刑法治罪法ノ翻譯ヲ各國ニ送リ又各國ノ學者ニ送シテ彼等ガ此刑法治罪法ナラバ我日本國ニ於テ治外法權ヲ撤去シテモ宜シヤト云フ學者ノ意見ヲ聞カレタ、又ボアソナード氏ハ隨分此コトニ熱心シテ大抵歐米ノ公法學者及刑法學者ニハ皆送ラレタ、ソレハ歐羅巴ニ御出ニナレバ皆彼等ガ座右ニ置テ研究シテ居ル、ソレデ明治二十年以來國際公法會ト申シマシテ歐米ノ國際公法家が集シテ、俗ニ云フ万國公法ヲ協議シ世界共通ノ交際ノ原則ヲ極メル所ノ學會がゴザイマスル、其會ニ於テ日本ノ刑法治罪法ヲ研究致シマシタ其末委員ヲ設ケマシタコトガゴザイマス、其委員會ノ目的ハドウ云フ目的デアルカト云フコトハ其委員會設置理由ニ詳シタ書イテアリマス、ソレヲ一通り申上げマス、國際公法會ニ於テ明治二十年カラ此日本ノ刑事訴訟法ヲ調查シマシタ結果其委員會ヲ設ケタ、其委員會ハ東洋ニ於ケル支那朝鮮暹羅日本ノ四箇國ニ於テ行レテ居ル當時ノ刑法治罪法ニ如何ナル改正ヲ加ヘ如何ナル改革ヲシタナラバ我ミ耶蘇教國ハ治外法權ヲ撤去シテ宜シヤ否ヤ此可否ヲ審查スル委員ヲ設ケマシタ、其委員長ニハ英國ニ於テ有名ナル國際公法家ノサーサーラバース、ツビスト云フガナリマシタ而シテ段々日本ノ刑事訴訟法ヲ繙イテ此委員會ガ明治二十年以來調査致シマシタ所ガ法律ノ上ニ於テハ誠ニ泰西ノ主義ニ則ツカ、此刑事被告人ヲ調ベル所ノ判事検事ト云フハ如何ナルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ刑法治罪法ノミヲ見テ條約改正ヲシテ治外法權ヲ撤去シテ宜シト云フコトハ斷言裁判所ノ有様ハドウ云フモノデアルカ、又刑事被告人ヲ取扱フ有様ハ如何ナル有様デアルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ裁判所ノ有様、判事検事ノ實際ノ有様ヲ知ルガ最モ必要デアルカラ、アルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ刑法治罪法ノミヲ見テ條約改正ヲシテ治外法權ヲ撤去シテ宜シト云フコトハ斷言シテ云フノガ明治二十四年ノ伯刺西爾ノ會議デ決シマシタ、茲ニ私ガ諸君ノ面前ニ於テ申上げルノハ潛越ノコトデゴザイマシテ誤シテ私ガ其會員ニ選バレ是ニハ日本ヨリ會員ヲ選舉シテ日本人中ヨリ國際公法中ノ會員ヲ選ンデ是ニ列席シテ日本ノ内地ノ判事検事ノ有様ヲ詳シウ開イテ徐ニ此問題ヲ決シヤウト云フノガ明治二十四年ノ伯刺西爾ノ會議デ決シマシタ、茲ニ私ガ諸君ノ面識モナカラネバ見識モナイ不肖ノ者デゴザイマスケレドモ誤シテ選バレタ以テ會頭カラ通知ヲ受ケマシテ二十五年ノ瑞西ノジエニーヴィアーノ會議ニ出席ヲスルヤウニト云フ通知ヲ得マシタ、私ハ淺學不才ノ者デアツテ斯ノ如キ重ト云フノガ明治二十四年ノ伯刺西爾ノ會議デ決シマシタ、茲ニ私ガ諸君ノ面前ニ於テ申上げルノハ潛越ノコトデゴザイマシテ誤シテ選バレタ以上ハ是ハ國家ノ大問題デアル故ニ粉骨碎心シテ此衝ニ當ラウト決心シテ二十二年ニ松方内閣總理大臣ニ願シテ私暇ヲ以テジエニーヴィアーノ參リマシタコトハ二十五年ノ臨時議會ノ後デゴザイマス、是ヨリ先キ私ガ此會ニ列スルニ

附イテ會員ニ選舉サレタ通知ヲ受ケルト同時ニ會頭カラスノ如キコトヲ私ニ持シテ來イト言ウタ、實ニ彼國ノ公法家及政治家ガ日本ノ條約改正ニ注目スルノ周到緻密ナコトヲ私ニ提出スペク材料ヲ求メタ事柄ニ附イテ驚異法ノ原則カラ豫審ニ辯護人ヲ置クノ可否ニ附イテハ私ハ今更喋々ハ致シマセヌ、コレハモウ十分盡キテ居ル、ワレヲ私ガ何ガ故ニ此豫審ニ辯護人ヲ置クト云フコトヲ贊成スルカト云フニ附イテハ第一私ハ事實ヲ陳述シテ諸君ノ御聞ニナツテ居ルカモ分リマセヌガ未ダ御聞ニナラズニ居リマスレバ其事實ヲ申上げテ此案ニ御贊成ヲ請ヒタイ、今此事實ヲ申上げタラバ此豫審ニ辯護人ヲ置クト云フコトノ必要ヲ御考ニナラウト思ヒマスカラ私ハ一言ソレヲ申述ベタ、抑々明治二十年以來條約改正ト云フコトヲ明治政府ガ歐米諸國ニ通知スルヤ刑法治罪法ノ翻譯ヲ各國ニ送リ又各國ノ學者ニ送シテ彼等ガ此刑法治罪法ナラバ我日本國ニ於テ治外法權ヲ撤去シテモ宜シヤト云フ學者ノ意見ヲ聞カレタ、又ボアソナード氏ハ隨分此コトニ熱心シテ大抵歐米ノ公法學者及刑法學者ニハ皆送ラレタ、ソレハ歐羅巴ニ御出ニナレバ皆彼等ガ座右ニ置テ研究シテ居ル、ソレデ明治二十年以來國際公法會ト申シマシテ歐米ノ國際公法家が集シテ、俗ニ云フ万國公法ヲ協議シ世界共通ノ交際ノ原則ヲ極メル所ノ學會がゴザイマスル、其會ニ於テ日本ノ刑法治罪法ヲ研究致シマシタ其末委員ヲ設ケマシタコトガゴザイマス、其委員會ノ目的ハドウ云フ目ナル改革ヲシタナラバ我ミ耶蘇教國ハ治外法權ヲ撤去シテ宜シヤ否ヤ此可否ヲ審查スル委員ヲ設ケマシタ、其委員長ニハ英國ニ於テ有名ナル國際公法家ノサーサーラバース、ツビスト云フガナリマシタ而シテ段々日本ノ刑事訴訟法ヲ繙イテ此委員會ガ明治二十年以來調査致シマシタ所ガ法律ノ上ニ於テハ誠ニ泰西ノ主義ニ則ツカ、此刑事被告人ヲ調ベル所ノ判事検事ト云フハ如何ナルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ刑法治罪法ノミヲ見テ條約改正ヲシテ治外法權ヲ撤去シテ宜シト云フコトハ斷言裁判所ノ有様ハドウ云フモノデアルカ、又刑事被告人ヲ取扱フ有様ハ如何ナル有様デアルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ裁判所ノ有様、判事検事ノ實際ノ有様ヲ知ルガ最モ必要デアルカラ、アルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ刑法治罪法ノミヲ見テ條約改正ヲシテ治外法權ヲ撤去シテ宜シト云フコトハ斷言シテ云フノガ明治二十四年ノ伯刺西爾ノ會議デ決シマシタ、茲ニ私ガ諸君ノ面前ニ於テ申上げルノハ潛越ノコトデゴザイマシテ誤シテ選バレタ以テ會頭カラ通知ヲ受ケマシテ二十五年ノ瑞西ノジエニーヴィアーノ會議ニ出席ヲスルヤウニト云フ通知ヲ得マシタ、私ハ淺學不才ノ者デアツテ斯ノ如キ重ト云フノガ明治二十四年ノ伯刺西爾ノ會議デ決シマシタ、茲ニ私ガ諸君ノ面前ニ於テ申上げルノハ潛越ノコトデゴザイマシテ誤シテ選バレタ以上ハ是ハ國家ノ大問題デアル故ニ粉骨碎心シテ此衝ニ當ラウト決心シテ二十二年ニ松方内閣總理大臣ニ願シテ私暇ヲ以テジエニーヴィアーノ參リマシタコトハ二十五年ノ臨時議會ノ後デゴザイマス、是ヨリ先キ私ガ此會ニ列スルニ

附イテ會員ニ選舉サレタ通知ヲ受ケルト同時ニ會頭カラスノ如キコトヲ私ニ持シテ來イト言ウタ、實ニ彼國ノ公法家及政治家ガ日本ノ條約改正ニ注目スルノ周到緻密ナコトヲ私ニ提出スペク材料ヲ求メタ事柄ニ附イテ驚異法ノ原則カラ豫審ニ辯護人ヲ置クノ可否ニ附イテハ私ハ今更喋々ハ致シマセヌ、コレハモウ十分盡キテ居ル、ワレヲ私ガ何ガ故ニ此豫審ニ辯護人ヲ置クト云フコトヲ贊成スルカト云フニ附イテハ第一私ハ事實ヲ陳述シテ諸君ノ御聞ニナツテ居ルカモ分リマセヌガ未ダ御聞ニナラズニ居リマスレバ其事實ヲ申上げテ此案ニ御贊成ヲ請ヒタイ、今此事實ヲ申上げタラバ此豫審ニ辯護人ヲ置クト云フコトノ必要ヲ御考ニナラウト思ヒマスカラ私ハ一言ソレヲ申述ベタ、抑々明治二十年以来條約改正ト云フコトヲ明治政府ガ歐米諸國ニ通知スルヤ刑法治罪法ノ翻譯ヲ各國ニ送リ又各國ノ學者ニ送シテ彼等ガ此刑法治罪法ナラバ我日本國ニ於テ治外法權ヲ撤去シテモ宜シヤト云フ學者ノ意見ヲ聞カレタ、又ボアソナード氏ハ隨分此コトニ熱心シテ大抵歐米ノ公法學者及刑法學者ニハ皆送ラレタ、ソレハ歐羅巴ニ御出ニナレバ皆彼等ガ座右ニ置テ研究シテ居ル、ソレデ明治二十年以来國際公法會ト申シマシテ歐米ノ國際公法家が集シテ、俗ニ云フ万國公法ヲ協議シ世界共通ノ交際ノ原則ヲ極メル所ノ學會がゴザイマスル、其會ニ於テ日本ノ刑法治罪法ヲ研究致シマシタ其末委員ヲ設ケマシタコトガゴザイマス、其委員會ノ目的ハドウ云フ目標的デアルカト云フコトハ其委員會設置理由ニ詳シタ書イテアリマス、ソレヲ一通り申上げマス、國際公法會ニ於テ明治二十年カラ此日本ノ刑事訴訟法ヲ調查シマシタ結果其委員會ヲ設ケタ、其委員會ハ東洋ニ於ケル支那朝鮮暹羅日本ノ四箇國ニ於テ行レテ居ル當時ノ刑法治罪法ニ如何ナル改正ヲ加ヘ如何ナル改革ヲシタナラバ我ミ耶蘇教國ハ治外法權ヲ撤去シテ宜シヤ否ヤ此可否ヲ審查スル委員ヲ設ケマシタ、其委員長ニハ英國ニ於テ有名ナル國際公法家ノサーサーラバース、ツビスト云フガナリマシタ而シテ段々日本ノ刑事訴訟法ヲ繙イテ此委員會ガ明治二十年以来調査致シマシタ所ガ法律ノ上ニ於テハ誠ニ泰西ノ主義ニ則ツカ、此刑事被告人ヲ調ベル所ノ判事検事ト云フハ如何ナルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ刑法治罪法ノミヲ見テ條約改正ヲシテ治外法權ヲ撤去シテ宜シト云フコトハ斷言裁判所ノ有様ハドウ云フモノデアルカ、又刑事被告人ヲ取扱フ有様ハ如何ナル有様デアルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ裁判所ノ有様、判事検事ノ實際ノ有様ヲ知ルガ最モ必要デアルカラ、アルカ、此實際ヲ調ベルニアラザレバ我ミ國際公法會トシテ此日本ノ刑法治罪法ノミヲ見テ條約改正ヲシテ治外法權ヲ撤去シテ宜シト云フコトハ斷言シテ云フノガ明治二十四年ノ伯刺西爾ノ會議デ決シマシタ、茲ニ私ガ諸君の面前ニ於テ申上げルノハ潛越ノコトデゴザイマシテ誤シテ選バレタ以上ハ是ハ國家ノ大問題デアル故ニ粉骨碎心シテ此衝ニ當ラウト決心シテ二十二年ニ松方内閣總理大臣ニ願シテ私暇ヲ以テジエニーヴィアーノ參リマシタコトハ二十五年ノ臨時議會ノ後デゴザイマス、是ヨリ先キ私ガ此會ニ列スルニ

實ノ御話ガアリマシタカラ其事實ハ誠ニ之ヲ決スルニ結構ナ材料デアルト考
ヘルニ依ク其事實ノ顛末ヲ今聊カ伺イタノデアル、結局公法會ノ議論ト
云フモノハ日本ノ法律制度ノ上カラ見レバ間然スル所ハナイ、併ナガラ此法
律ヲ實施スルノ上ニ附イテ未だ疑ガアルニ依クテ十分實施ノ結果ヲ見タ上デ
愈々條約ヲ實施シテ彼等ノ生命財産ヲ日本ノ裁判官ノ下ニ委託シテ遺憾ガナ
イカ如何ト云フコトヲ決議シタト云フコトデ結局サウ云フ話デアリマスガ此法
後段々我國ニ於キマシテモ條約實施ノ準備モ出來テ來テ各々其準備ノ重モナ
ル事柄或ハ二十五六年以來日本ノ此法律ヲ段々裁判所ニ適用シテ行ク有様
ハ皆各國ノ公使館アリカラ彼國ニ報告ニナクテ居ルダラウト思ヒマス、金
子君ハ幸ヒ公法會ノ會員デ御出ニナル以上ハ其後ノ公法會ノ日本ノ總テノ法
律ヲ適用スルニ附イテノ疑ト云フモノハ如何ニナクタデアリマセウカ、其邊
ノ事實ハ未だ金子君ハ御承知ニナラヌデゴザリマセウカ、又ハアチラノ會ニ
ハ其邊ニハ決議ガ及バヌノデアリマスカ、其邊ヲ承ルコトガ出來マセウナラ
誠ニ仕合ニ存ジマス

○金子堅太郎君 今山脇君ノ御問ニ御答シマスルガ二十五年ノジェニ一ヴァ
ノ會議ニ私が提出シタ所ノ判事檢事ノ採用規則、判事檢事懲戒法、豫審免訴
ノ數、豫審ノ後公判ニ回シタ數、豫審ノ後公判ニ免訴ニナクタ數ニ附イテ誠
ニ明瞭ニ分ツテ今マデ知ラザル所ノ日本ノ有様ヲ見テ檢事判事ノ資格モ明ニ
ナッタ、故ニ日本ハ支那朝鮮暹羅日本ハ非耶蘇教國デアルカラ治外法權
ヲ撤去セヌ考デアルケレドモ日本ハ既ニ文明ガ大ニ進デ居ルカラ撤去シテ宜
イト云フ決議ダケハ致シタ、ソコデ二十七年ノ日英條約ヲ國際公法會ニ私ヨ
リ送リマシタトキ幹事ノレア一人ノ報告デアルガ此條約ニ附イテハ我ミハ
満足スル、日本ハ數十年ノ希望ヲ達シ文明ノ主義ヲ採リ國ヲ開放スルコトハ
之ニ賛成スル、併シ其實施如何ニ附イテハ其情況ヲ調査シテ重ねテ評論スル
ト云フ報告デアツテ未だ國際公法會ニハ決議ハ致シマセヌ

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 唯今金子君カラ致シマシテ熱心ナル御演説ガアリマシテ拜聴シ
マシタ、實ニ感服シマシタ、御演説ニハ併ナガラ此コトタルヤ先日、
本院ニ於キマシテ再應ノ豫審モ遂ゲ議場ニ於キマシテモ十分ノ御議論ガアリ
マシタ末、大多數ヲ以て本院ハ可決ニナリマシテ、政府案ノ如クニ可決ニナ
リマシテ衆議院ニ送付ニナリマシタ、然ル所衆議院カラ更ニ又少數者意見ノ
如キ修正ヲ加ヘテ、ヨチラニ回シマシタノデゴザイマスカラシテ、今日先日
ノ大多數ニ拘ラズ本院ガ通過スルト云フコトニナックタラ、ソレコソ本員ハ
金子君ノ言ハレル大問題ダラウト思フノデ、ソレデ過日本員モ申上ゲマシタ
ガ豫審ニ辯護人ヲ用ヒルト云フコトハ本員ハ何モ絶對的ニ反對ト云フコ
トデハナク、反對ドコロデナク、寧口付ケテモ宣イ付ケル方ガ宣イト云フ本員
ハ考ヲ有ツテ居ル、併ナガラ如何ニセンドウモ今日ノ刑事訴訟法ノ組織
上、獨リ豫審ニ辯護人バカリヲ用ヒルト云フコトニナリマスト云フト如何ニ
モ組織カラガ改正ヲシナケレバナラヌ、今日豫審ト申シマスモノハ祕密主義
ニナクテ居リマス、決シテ地人ヲ入レヌ、裁判官ニ豫審判事ト被告人ダケ
デ決シテ他ノ者ヲ入レヌ、公判ニナルト所謂公開主義デアルカラ誰デモ傍聴
モ出来レバ固ヨリ辯護人モ用ヒラレル、ケレドモ此豫審ニ至シテハ祕密主義
ト云フコトヲ主トシテ出來テ居ルモノデゴザイマスカラシテ其祕密主義ニ成
立ツテ居ル所ニ公開主義ヲ入レルト云フコトハ組織上甚ダ困ル、寧ロソレナ
ラバ公開主義ニシテ豫審モ誰デモ傍聴が出來ルトシタ方ガ宜イ、獨リ辯護人

バカリヲ入レテ置クト云フコトハドウモ此豫審ノ今日ノ組織上穩デナ
ト云フノデ本員等ハ先日モ反對シタ、ソレニ司法省ニ於キマシテモ今日此刑
事訴訟法ト云フモノハ改正中ト云フコトモ聞イテ居リマスルカラシテ何レ此
次ノ議會マデニハ刑事訴訟法ガ出來上ガリマシテ其時分ハ本員ハモ隨分豫審
ニ辯護士ヲ入レルト云フ組織デ始カラ組立シテ出來ルデアラウト思ヒマス、
ソレテ段々金子君ハ二十五年ニジェニ一ヴァノ公法會ニ於カレマシテ之ニモ
御出席ニナリ、且ツ其時分ニ段々此豫審ニ辯護士ヲナゼ日本ハ用ヒヌ、ソレデ
此金子君ハ之ニ答辯セラレテ佛蘭西デハ用ヒラレヌト云フコトデ併シ本
員ハワコニ少シク怪ム、金子君ガ專ラ主トセラル、ノハ今日我日本ハ文明國
ノ仲間ニ這入ルノハ獨リ豫審ニ辯護士ヲ用ヒルト用ヒヌトニアルヤウニ聞エ
ル豫審ニ辯護人ヲ用ヒナケレバ文明國ノ仲間入ガ出來ヌト云フヤウニ承リマ
スルガ、本員ノ考ヘル所ハサウ云フ公法會杯ニナリマシタバ外ノコトノ問
題ガアラウト思ヒマス、此日本ノ刑事訴訟法ニ附イテハ外ノ問題が出サウデ
アルト思フノデアリマス、ソレヲ甚ダ怪シニ居ル、日本ノ刑事訴訟法ニハ第一
ニ批難ヲ受ケヌケレバナラヌコトガ本員等ハアラウト思ヒマス、歐羅巴人ノ
眼玉カラ見レバソレデ本員等ハ既ニ明治十三年ニ刑法治罪法ガ頒布ニナ
リマスル實際ニ獨逸ニ參リマシテアチラノ有名ナルベるねるト云フ人ニ就キマ
シテ一週間ニ三度ヅ、聞キマシタ、日本ノ刑法治罪法ノコトニ附キマシテ段
段意見ヲ聞キマシタ、第一番ニ向ノ者ガ怪シムノハ刑法ニ於テ怪シニ又治罪
法ニ於テモ怪シム者ガアル、ソレハ何ダト申スト此先程モ言ハレマシタガ
一朝過ツタラ隨分絞罪ニモ處セラル位ナコトデアリマスレバ、其今日裁判上
尤モ大切ナル此罪ノ有無ヲ決スル者ハ何ダト言ヘバドウシテモ陪審ト云フモ
ノガナクテハナラヌト歐羅巴人ハ言フ、裁判官ノ眼玉デ若シ辯護人ガ豫審デ
モシテ彼是言タ所デ直グニソレデ絞罪ニナル、罪ノ有無ヲ決スル譯デハナク、
陪審ト云フ奴ハ恐ロシイ罪ガアルト云ヘバ絞罪ニモナルガ辯護人ハ唯裁判官
ノ殆ド参考ニ辯護シテヤルダケノモノデ、併ナガラ今日ノ刑事訴訟法デハド
ウデゴザイマス、又御覽ノ通裁判官ノ眼玉デ以テ罪ガ有ルトカ無イトカ言
テ死刑ニモ處スト言フコトニナクテ是ハドウモ歐羅巴人ナンゾハ實ニ驚クデ
ス、アチラデハ決シテ裁判官ノ眼玉デ罪ノ有無ヲ決シサセナイ、裁判官ニ若
シドンナ者ガアルテ裁判官ニ罪ヲ決セラレテハ實ニドウモソレコソ保護上人
命ヲ輕ンズルト云フコトニナル、ソレデアチラニハ陪審ト云フモノガアル
ソレニ罪アリト見ラレタラ仕方ガナイ、決シテ裁判官が見テ罪アリト云フコ
トハ決シテナイ、ソレ故ニ歐羅巴各國今日殆ド陪審ヲ用ヒヌ所ハナイ、デ日
本ノ刑事訴訟法ハアリヤ罪ガ有ル無イト云フコトヲ裁判官が極メルノデアル
カラ實ニ恐ロシイ、歐羅巴人ハ實ニ此點ニハ危シテ居ル、ソレデ若シサウ云フ
萬國公法會議デモアリマシタラバ日本ノ刑事訴訟法ニハ第一ニソレガ出ナク
テハナラヌト思ヒマス、辯護人ヲ豫審ニ用ヒルト云フコトハ本員等ハ第二
段ノ話デハナイカト思マヒス

〔金子堅太郎君〕チヨット誤解ガゴザイマスカラ正誤致シテ置キマス、ソ
レハ幾ツモ問題ガゴザイマシタガ、今日ハ豫審ノ問題デアリマスカラ
他岐ニ瓦ツテハ議場ノ妨げニナラウト思ヒマスカラ外ノ事ハ申シマセ
ラレテ居リマスカラ本員等ハ甚ダ感服致シマセヌ、若シ辯護人バカリ入レ

ルト云フコトノ萬國公法會ナラバ本員等ハチットモ感服シナイ、又今日ハドコデモ豫審ニ辯護人ヲ用ヒテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタガ本員ノ聞ク所デハサウデナイ、英吉利アタリデハ豫審ニ辯護人ヲ用ヒルト云フコトハナイ、豫審ト公判トノ區別ハ殆トナイ、多クノ者ガ直ニソコデ罪ニ服セバ直ニ裁判ヲ言渡スト云フコトニナシテ居リマスカラソレデコチラノヤウナ區別ハナイノデアリマス、ソレデ此金子君ノ言ハレルニハ歐羅巴各國ドヨデモ辯護人ナシゾヲ用ヒルト云フコトデアリマシタガ本員ノ承テ居ル所デハドコデモ用ヒテ居ルト云フコトデナイ、又金子君ノ言ハレル如ク佛蘭西デモ近年ハ用ヒテ居ルト云フコトデアル、併ナガラ此陪審ト云フコトニ至シタラバ實ニ古タカテ用ヒテ居ル、ソレデ下ウゾ本員ノ望ミマスル所ハ完全ナル刑事訴訟法ヲ作リタイト思フ、完全ナルモノデハナイ、ソレヲ以テ文明國ノ仲間入ガ出來ルト云フモソレデ完全ナルモノデハナカラウト思ヒマスカラドウゾ先日當院ニ於テ議決ニナリマシタ通此ノデハナカラウト思ヒマスカラドウゾ先日當院ニ於テ議決ニナリマシタ通此衆議院ノ案ニハ反対アランコトヲ希望致シマス

○兒玉淳一郎君 本員モ少シ意見ヲ述ベタウゴザイマスルガ、本員ハ協議會ニナシテカラ後ノ話ハ存シマセヌカラ、チヨット伺ヒマスガ、此際豫審ニ辯護士ヲ附ケルト云フコトノ利益デアルト云フコトヲ述ベテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 宜シウゴザイマス

○兒玉淳一郎君演壇ニ登ル

○兒玉淳一郎君 諸君、唯今御聞ノ通ニ村田君カラ此豫審ニ辯護士ヲ附ケルコトハ刑事訴訟法ノ組立ガ違フカラ容易ニ出來ナイトスウ云フコトノ御議論デゴザイマシタ御承知ノ通前會ニ我ニハ少數意見ヲ提出致シマシテソレガ不幸ニモ矢張負ケタノデゴザイマス、ソレデ幸ニシテ此度衆議院デ我ニノ意ガママア通過シマシテ再ビ此議案ガ爰ニ出ルコトニナシタノハ誠ニ喜ンデ居ルノデゴザイマス、ソコデ豫審ニ辯護士ヲ附ケルト云フコトガ刑事訴訟法ノ付ケタナラバ、祕密ガ漏洩スルト云フコト、ソレカラモウ一つハ陪審ガナクテモ矢張辯護士ヲ附ケテ被告人ノ利益デアリ、又此國ノ文明ノ體面ヲ完ウスルト云フコトヲ申上ダヤウト思ヒマス、之ヲ申シマスルニ附キマシテハ此豫審ニ辯護士ヲ骨子ヲ變ヘズトモ出來ルト云フコト又モウ一つハ陪審ガナクテモ矢張辯護士ヲ附ケタラ判事ノ妨ヲスルトカ或ハ何トカ云フヤウナコトノナイコトヲ一通申上ダヤウト思ヒ、皆サン御承知ノ通裁判官ガ裁判ヲスルト云フモノハ被告人ノ自白ニ拘束サレヌノデアリマス、何トナレバ當人ガ惡イ事ヲ致シテ置イテセスト云フテモ構ハヌノデアリマス、假令彼ガ何ト申シマシテモ被告ノ被害ノ證據ガ他ニ現ハレテ居リマスカラソレハドウシテモ仕様ガナイ、假令辯護士ガ中ヘ這入シテ來テ其コト漏シクトカナントカ申シマシテモ被害ノ證據ガ具ツテ居リマス、コレガ具ツテ居ル限ハドンナコトヲ言ツテモ狂ハヌ、ソコデゴザイマスカラコレニ辯護士ヲ附ケタ所ガ少シモ害ハナイノデアリマスモウツ一方カラ申シマスルト裁判官ガ人ニ物ヲ問ヒマス、御承知デモ

ゴザイマセウ、色ニ問ヒ方ガアルノデゴザイマス、引出ノ間ヒト云フコトモ
アリ吸出ノ間ヒト云フモノモアル、ソレニ附イテ被告人が唯ハイト言フ
テ恐入ッテ、直ニソレガ豫審ノ調書ニナルノデアリマス、コレガ公判ニ固リ
マシテ一ノ公判ノ道具ニナル、其場合ハモウ此調書ハ動カヌノデアリマス、
之ヲ動カスト云フコトハ容易ナラヌコトデアリマス、ソコデ其トキニ多クハ
此公判ノ判事ト云フモノハソレニ信用ヲ置クノデアリマス、ソコデアリマ
スカラ此場合ニ豫審ニ辯護士ヲ附ケテ居リマシタラ不法ナ問ヲサレタトキニ
答ヘルトキ、法律上ノ注意ヲ與ヘルコトガ出來ル、其トキ辯護士ハ人ヲ斬ッ
タノハ斬ラスト言ハセルコトハ出來マセヌ、斬ラレタモノガアリマスカラ、
ソコデ今村田君ノ仰シャル通成程ソレハ陪審ガアレバ宜イニ相違ナイ、相違
ゴザイマセヌガ陪審ガナクテモ豫審ニ辯護士ヲ附ケマシタラ一步宣イ方へ進
ミマス、一步デモ宜イ方へ進ミマスノヲ、陪審ガナケレバ豫審ハ辯護士ヲ附
ケルノハ惡イト云フコトハ實ニ無理ナ御議論ト思フノデアリマス、私共ノ考
ハ一步デモ宜イ方へ進ミタイト云フ考デゴザイマスカラ、爰デドウゾ衆議院
ノ修正説ニ皆様ガ御贊成ニナルコトヲ希望致シマス、ソレデ吳ミモ申シマス
ガ、長イコトハ申シマセヌガ、祕密ガ漏洩スルト云フコトハ決シテナイコト
デス、漏洩シテモ宜イ假令何ト云フテモ宜イ被害ノ證據ハ動キマセヌカラ、
判事ハソレダケノコトヲ見ル目ヲ持ツテ居リマスカラ一向差支ヘナイノデ
アリマスガ、爰ノ所ハ能ク申上ゲテ置キマスガ、ドウカ衆議院ノ修正説ニ御
賛成ニナルコトヲ希望致シマス、長ク申上ゲテモ宜ウゴザイマスガ、コレハ
此前ニ論ガ澤山アリマシタモノデスカラ略シマシテ申シマセヌカラ、ドウゾ
此度ハ衆議院ノ修正説ニ御賛成アランコトヲ希望シマス

〔政府委員石渡敏一君演壇三登ル〕

○政府委員(石渡敏一君) 唯今御述ベニナリマシタ所ノ御演説ニ對シテ一二
點述べテ置キタイコトガゴザイマスカラ、暫クノ間御清聽ヲ瀆シマス、第一
金子君カラシテ國際公法會ノ決議ノ御話ガアリマシタ、其中ニ明治二十七年
マデノ御話ラシイヤウデゴザイマシタ、歐洲大陸ニ於テモ又英吉利ニ於テモ
豫審ニ辯護士ヲ皆附ケテ居ルト云フ御話ガゴザイマシテゴザイマスガ、先づ
金子君ハ國際公法會ノ會員デアリマスカラ嘘デハゴザイマスマイト思フノデ
ゴザイマス、法律トシテハドウモ、日本ニアリマス法律トシテハ反對ノ結果
ヲ現ハシテ居マス、佛蘭西ニハ成ル程一昨年豫審ニ辯護士ヲ附ケルト云フ
コトニナリマシタ、其前歐羅巴ノ大陸ニ於テハ明治二十七年頃マデニ豫審ニ
辯護士ヲ附ケルト云フコトニナラテ居ルノハ獨逸ト澳太利此二箇國ヨリ外ニ
ハゴザイマセヌ、白耳義ニモナケレバ伊太利アタリニモナイ、此ナイト云フ
方ノ點ニ附イテハ澳地利ノ「ブリードマン」ノ豫審ニ辯護士ヲ附ケルト云フ編
ヲ見マスト全クナイト云フコトニナラテ居リマス、此二箇國ノ外ナインデアリ
マスカラシテ、御報告デハゴザイマスガ、ドウモ事實トモ思ハレマセヌカラ
シテ其コトヲ一言辯ジテ置キマス、ソレカラ前日來豫審ニ於テ豫審判事が被
告人ヲ取扱カフ其取扱ヒ方ガ如何ニモ過酷デアルガ如キ御説ガ度ニ出シテゴ
ザイマス、丹羽君カラモ出マスレバ三好君カラモ出タヤウデゴザイマス、唯
今ノ辯者カラモ矢張出テ居ル、ドウモ此事實ハ一應辯ジテ置カナケレバナラ
スト思フノデゴザイマス、外ノ此事實ヲ一々舉げテ御答へ申スト言ッテモ時
モ長ク掛ルモノアリマスカラ、統計ヲ擧ゲテ御話ラシタラ大抵御分ニナラ
ウト思ヒマス、明治三十年ノ統計表ニ依リマスルト此檢事が豫審ヲ求メタル
總人員ハ三万九千六百七十八人、其中デ豫審判事が免訴ヲシマシタル數ハ

万二千四百二十九人デゴザイマス、四万人ノ所ニ一万二千四百二十九人ト云
フモノハ免訴ヲシタコトニナル、豫審判事ハ決シテ被告人ニ對シテ亂暴ヲ
シタモノデナイト云フ事實ヲ現シテ居リマス、檢事ト常ニ被告人ヲ苦シメルモ
ノデナイト云フ事實モ證明サレヤウト思フ、成ル程辯護人ノ言フ所デハ殊ニ
辯護士ノ言フ所デハ豫審判事が被告人ヲ酷クスル、脅喝ヲスル、殆ド拷問ニ
近イコトヲスルトスウ申シマスガ、檢事ノ方ノ側ニ這入ッテ見マスレバ矢張
同一ナル不平ガアル、自分が犯罪アリトシテ起訴シタ所ガ三分ノ一モ無罪ニ
サレル所カラシテ不平ガアル、ドウモ今日ノ豫審判事ハ人ニ詔ネル即チ辯護
士ノ言フコトヲバ聞イテ往カヌ、被告人ノ利益バカリ計ツテ往カヌト云フ不
平ハ檢事中ニモアルノデゴザイマス、又豫審判事ニ往ツテ聞ケバドウカト云
フト即チドツチニモ不平ガアルノガ即チ自分ノ公平ノ所デ自分ハ正當ト思
タ所ヲ以テヤルノダカラ此ノ如ク三分ノ一カラモ免訴ニスルノデアルトスウ
云フ、コレハ尤モデアラウト思フ、タレ故ニ前回カラ度々申シマスル通豫審
判事ト檢事ト組合ッテ被告人ヲ過酷ニ取扱フト云フ點ハ事實ナイコトハ斷言
シテ宜シカラウト思フ、又金子君ヨリシテ何故政府ハ此必要ナル制度即チ豫
審ニ辯護士ヲ付ケルト云フ制度ヲ暮マデ待ツノカ、今ヤフテ宜イデハナイカ
ト云フ御説デゴザイマスガ、コレハ考ノ違フ所カラシテ仕方ハナイカモ知レ
マセヌガ政府デハ慎重ニ此制度ノ利害ヲ考ヘテ用ヒル程度モ國ニ皆違ツテ居
ル、澳地利モ違ツテ居ル、獨逸モ違ツテ居ル、佛蘭西モ英吉利モ皆ナ違ツテ
居ル、其制度ヲ採ルニ附イテハ日本ノ國ニ合フヤウナ制度ヲ採ラナケレバ
ナラヌ、國モ違ヒ裁判所ノ數モ違フ、又ソレニ從フ制度モ一つ考ヘテ見ナケレ
バナラヌ、考ヘル暇ガナイト云フハ理屈ニナラヌノデアリマス、サウ急ニ爲ス
ヘキモノデアルカ、外國ニ於テセ例ガアル、用ヒナイト云フ例ガアル、例ガ
アタテ日本ダケハナゼ外國人ニサウ追ラレテ從ハナケレバナラヌト云フ理由
ガ分ラヌノデアリマス、サウ急ニ從ハヌデモ宜イ、日本ノ制度デアリマスカ
ラシテ日本人ハ慎重ニ考ヘテ見テ世間へ出シテ批評ヲ請フテカラニ之ヲ制度
トシテモ決シテ遅クハナイト思タテ先づ出來マスレバ次ノ議會、若シ出來マ
セヌナラ其次ノ議會マデニ提出スル考ヘカラシテ今日ノ所デハ豫審ニ辯護ヲ
付スルノ法律案ヲ出スコトハ出來マセヌト云フ趣意デアリマスカラ左様御承
知ヲ願ヒマス

(三好退藏君演壇ニ登ル)

○三好退藏君「諸君、私ハ本案ノ利害得失ノコトニ附イテ前會ニ此議場ニ於
テ十分申述ベテ諸君ノ清聽ヲ煩ハシタコトデアリマスカラ本日ハ最早沈黙致
ス積デアリマシタガ唯今政府委員カラ現日本ノ豫審ノ有様ヲ説カレマシタ
ニ附イテ本員ガ見ル所ト記憶スル所トハ事實大ニ相違致シテ居リマスニ依
テ聊カ之ヲ辯明シテ尙ホ諸君ノ公平ナル此判断ヲ願ヒタイト考ヘマスルノ
デアリマス、唯今政府委員ハ我刑事裁判所ニ於テ豫審判事ハ決シテ不都合ナ
コトハナイト云フコトヲ斷言セラレマシタガ本員ガ見聞スル所ニ依リマスレ
バ實ニ言フニ忍ビザルコトガアルノデアリマス、諸君試ニ既往ノコトヲ考ヘ
テ御覽ナサイ相馬事件ハ如何デアツカ、鐵管事件ハ如何デアツカ、又和歌
山ノ或ハ豫審ニ於テ如何ナルコトガ起リマシタカト云フコトハ當局者モ必ラ

ズ御承知デアラウト思ヒマス、又世間ノ人モ之ヲ記憶シテ居ラウト思フノデ
アル、皆豫審デハ、豫審判事が雙方ヨリ賄賂ヲ取ツテ今日監獄ニ繫ガレテ居
ルデハナイカ、檢事が被告人ヲ誘導シテ被告人ノ親戚ヨリ賄賂ヲ取ツテ現ニ
辯護士ノ言フ所デハ豫審判事が被告人ヲ酷クスル、脅喝ヲスル、殆ド拷問ニ
近イコトヲスルトスウ申シマスガ、檢事ノ方ノ側ニ這入ッテ見マスレバ矢張
同一ナル不平ガアル、自分が犯罪アリトシテ起訴シタ所ガ三分ノ一モ無罪ニ
サレル所カラシテ不平ガアル、ドウモ今日ノ豫審判事ハ人ニ詔ネル即チ辯護
士ノ言フコトヲバ聞イテ往カヌ、被告人ノ利益バカリ計ツテ往カヌト云フ不
平ハ檢事中ニモアルノデゴザイマス、又豫審判事ニ往ツテ聞ケバドウカト云
フト即チドツチニモ不平ガアルノガ即チ自分ノ公平ノ所デ自分ハ正當ト思
タ所ヲ以テヤルノダカラ此ノ如ク三分ノ一カラモ免訴ニスルノデアルトスウ
云フ、コレハ尤モデアラウト思フ、タレ故ニ前回カラ度々申シマスル通豫審
判事ト檢事ト組合ッテ被告人ヲ過酷ニ取扱フト云フ點ハ事實ナイコトハ斷言
シテ宜シカラウト思フ、又金子君ヨリシテ何故政府ハ此必要ナル制度即チ豫
審ニ辯護士ヲ付ケルト云フ制度ヲ暮マデ待ツノカ、今ヤフテ宜イデハナイカ
ト云フ御説デゴザイマスガ、コレハ考ノ違フ所カラシテ仕方ハナイカモ知レ
マセヌガ政府デハ慎重ニ此制度ノ利害ヲ考ヘテ用ヒル程度モ國ニ皆違ツテ居
ル、澳地利モ違ツテ居ル、獨逸モ違ツテ居ル、佛蘭西モ英吉利モ皆ナ違ツテ
居ル、其制度ヲ採ルニ附イテハ日本ノ國ニ合フヤウナ制度ヲ採ラナケレバ
ナラヌ、國モ違ヒ裁判所ノ數モ違フ、又ソレニ從フ制度モ一つ考ヘテ見ナケレ
バナラヌ、考ヘル暇ガナイト云フハ理屈ニナラヌノデアリマス、サウ急ニ爲ス
ヘキモノデアルカ、外國ニ於テセ例ガアル、用ヒナイト云フ例ガアル、例ガ
アタテ日本ダケハナゼ外國人ニサウ追ラレテ從ハナケレバナラヌト云フ理由
ガ分ラヌノデアリマス、サウ急ニ從ハヌデモ宜イ、日本ノ制度デアリマスカ
ラシテ日本人ハ慎重ニ考ヘテ見テ世間へ出シテ批評ヲ請フテカラニ之ヲ制度
トシテモ決シテ遅クハナイト思タテ先づ出來マスレバ次ノ議會、若シ出來マ
セヌナラ其次ノ議會マデニ提出スル考ヘカラシテ今日ノ所デハ豫審ニ辯護ヲ
付スルノ法律案ヲ出スコトハ出來マセヌト云フ趣意デアリマスカラ左様御承
知ヲ願ヒマス

(三好退藏君演壇ニ登ル)

○三好退藏君「諸君、私ハ本案ノ利害得失ノコトニ附イテ前會ニ此議場ニ於
テ十分申述ベテ諸君ノ清聽ヲ煩ハシタコトデアリマスカラ本日ハ最早沈黙致
ス積デアリマシタガ唯今政府委員カラ現日本ノ豫審ノ有様ヲ説カレマシタ
ニ附イテ本員ガ見ル所ト記憶スル所トハ事實大ニ相違致シテ居リマスニ依
テ聊カ之ヲ辯明シテ尙ホ諸君ノ公平ナル此判断ヲ願ヒタイト考ヘマスルノ
デアリマス、唯今政府委員ハ我刑事裁判所ニ於テ豫審判事ハ決シテ不都合ナ
コトハナイト云フコトヲ断言セラレマシタガ本員ガ見聞スル所ニ依リマスレ
バ實ニ言フニ忍ビザルコトガアルノデアリマス、諸君試ニ既往ノコトヲ考ヘ
テ御覽ナサイ相馬事件ハ如何デアツカ、鐵管事件ハ如何デアツカ、又和歌
山ノ或ハ豫審ニ於テ如何ナルコトガ起リマシタカト云フコトハ當局者モ必ラ

スノ如キコトハ皆是ハ豫審ノ祕密ヨリ起ル所ノモノデアル、豫審判事一
人デヤルカラ起ル所ノ弊害デアリマス、現ニ我ガ目撃スル所デアル、諸
君モ必ラズ此コトハ私ガ喋々致サヌデモ御承知ノコトデアル、是ハ有名ナル
コトデアル、其他僅ナル所ノコトニ於テ疑ヒ、人ガ如何ナルコトガ豫審デ行
ハル、デアラウカト云フコトヲ疑フテ居ルコトハ未ダ澤山アルノデアル、併
君モ必ラズ此コトハ私ガ喋々致サヌデモ御承知ノコトデアル、是ハ有名ナル
コトデアル、其御スルト同時ニ或ハ有罪ノ者ヲ脱セシムルコトハナキヤ否ヤト云フコト
ヲ言ハレマシタガ私ハ是ニ反対シテ豫審判事ハ果シテ無罪ナル者ヲ有罪ニス
ルコトハナキヤ否ヤ又同時ニ有罪ナル所ノ者ヲ賄賂ヲ取ツテ無罪ニスルコト
ハナキヤ否ヤ、ト云フコトヲ私ハ司法大臣ニ反問ヲ致シマス、司法大臣ハ判
事検事ヲ監督シテ御居デナサリ且ツ辯護士モ監督ヲシテ御居デナサル御方デ
アリマスレバ公平ナル司法大臣ハ決シテ愛憎ハナカラウト思フ、唯所謂燈臺
下暗シテ或ハ御監督ノ上ニ於テ御注意ガ或ハ見落シテ御居ナサルコトデハナ
イカト考ヘル、ソレデ辯護人ヲ豫審ニ付スルトキハ斯々ノ害ガアルト云フコ
トダケハ非常ニ司法大臣始メ政府委員ハ能ク御著眼デアリマスルガ其燈臺
ノ下ニアル所ノ豫審ノ祕密ヨリ生スル所ノ判事検事ノ弊害ト云フモノハ如
何デアルカト云フコトモ能クドウゾ顧テ下サレタインノデアリマス、是ハ日本
ノ今日現在ノ有様デアル、決シテ私ハ唯外國人ニ向ツテ云々ト云ハセテ云々ト云
トダケハ非常ニ司法大臣始メ政府委員ハ能ク御著眼デアリマスルガ其燈臺
ノ下ニアル所ノ豫審ノ祕密ヨリ生スル所ノ判事検事ノ弊害ト云フモノハ如
何デアルカト云フコトモ能クドウゾ顧テ下サレタインノデアリマス、是ハ日本
ノアルノガ必要デアルソレデ豫審判事ハ辯護人ノ方ヲ見テ居ル辯護人ノ方
ノデアルト云フコトカラシテ終ニ之ヲ破ツテ殆ド公開ニシタノデアル、ケレ
ドモ本員ハ決シテ之ヲ一足飛ニ豫審ヲ公開ニセネバナラヌト云フコトハ幾分か之
致サナイ、唯豫審判事ヲ監督スル所ノ者ガ一方ノ反對ノ方ノ辯護人ト云フモ
ノアルノガ必要デアルソレデ豫審判事ハ辯護人ノ方ヲ見テ居ル辯護人ノ方
ノデアルト云フコトカラシテ終ニ之ヲ破ツテ殆ド公開ニシタノデアル、ケレ
ト云フモノハ必ラズ是ヨリ救濟セラル、デアラウト云フコトヲ希望スルノデ
アル決シテ辯護人ヲ許シタカラト云フコトテ決シテ是ガ公開デアルト云フコトハ
ナイノデアリマス、デ之ヲ公開スルト云フコトハ尙ホ前途遙ナコトデアルカ
モ知レマセヌ、又或ハ近ク來ルカモ知レマセヌ、唯本員ノ希望スル所ハ今日
マデノ實際ノ弊害ヲ濟ハンガタメニ又人權ノ自由ヲ貴重スルカタメニドウシ
テモ此辯護人ヲ豫審ニ付シテ裁判ノ公平ヲ保タシメ人民ノ權利ヲ伸長セシメ
ルト云フコトノ此一段ハ是非共今日ニ行ハナケレバナラヌト云フコトヲ希望
スルノデアリマス、チヨット諸君ノ御参考ノタメニ此立政體ノ總テノ諸法
律ハ此現今ノ刑事訴訟法ト云フモトハ合ハナイ、ドウシテモ是デ大ニ改正セ
ラレナケレバナラヌト云フコトヲチヨット申述ベテ見タイト思フノデアリマ

ス、總テ此立憲政治ニ伴フ所ガ法律ハ公平ニ此權衡ヲ保タレテ居ルモノニア

ルト思フ丁度此議院ノ議事法ニ於キマシテ特別委員ト云フモノヲ置カレテ此

一ノ議案ヲ調査セシメラル、ト云フコトガ丁度豫審デアリマス、サウシテ此

所デ御判断ニナルサウシテ此議場デ判決セラル、ノガ公判ノ如キ場合ニナッ

テ居ル、ソレデ此特別委員會ノ所ヲ全ク祕密ニシテ誰モ之ニ這入ルコトガ出

來ズシテサウシテ此原案即チ此政府カラ提出サレタ所ノ原案ヲ否決スル可決

スルト云フコトヲ全ク特別委員ニ任セテ之ヲスマフト云フ

コトデアツタナラバドウデアリマス、餘程是ハ弊害ノ生ジ易キモノニアラウ

ト思フ或ハ之ニハ餘程疑ガ起ルコトデアラウト思フ或ハ政府カラ買收セラレ

ハシナイカ、或ハ此稅法案ノ如キハ人民カラ委託ヲ受ケヤシナイカト云フコ

トノ疑ト云フモノハ餘程起ルベキ皆デアル、然ルニ此議事法ノ公平ナル委員

會ト云フモノニ十分ニ調べサシテ此報告ヲ舉ゲテ此報告ニ依クテ判断ヲセラ

ルルト云フコトニナツテ居リマス、丁度裁判所ノ豫審公判ト云フ場合モ此ノ如

ク立テラレナケレバ決シテ十分ナルモノトハ言ハレナカラウト思フノデアリ

マス、ソレデ獨逸ノ刑事訴訟法ニ於キマシテハ丁度サウナツテ居ル、豫審

判事ガ調べサウシテソレヲ數人ノ公判判事ノ前ニ持ッテ來テ其報告ヲシテ

可否ノ決ヲ公判判事ニ仰グト云フコトニナツテ居リマス、實ニ公平ナルモノ

デアル、立憲政體ノ上ノ法律ハ總テ此ノ如キ公平ヲ保クテ各國民ヲシテ少シ

モ疑ヲ容ル、所ナカラシムルヤウニ立テラレルノガ最モ適當ナ制度デアラウ

ト思フノデ、現今ノ日本ニ行ハレテ居リマスル所ノヤウナ制度ハ專制政治ノ

デアル、立憲政體ノ上ノ法律ハ總テ此ノ如キ公平ヲ保クテ各國民ヲシテ少シ

モ疑ヲ容ル、所ナカラシムルヤウニ立テラレルノガ最モ適當ナ制度デアラウ

ト思フノデ、現今ノ日本ニ行ハレテ居リマスル所ノヤウナ制度ハ專制政治ノ

トキニ行ハレテ居ル所ノ即チ遺物デアル、殘り物デアル、大ニ此弊害ヲ見テ

居ルノデアリマスカラ我ミノ希望ハドウゾ今獨逸ニ行ハレテ居リマスルガ如

ク即チ此議事法ニ於テ特別委員ガ調查シタ所ノ報告ヲ聽イテ此議場ニ於テ

可否ノ判決ヲセラル、ガ如ク公平ナル刑事訴訟法ヲ制定セラル、コトヲ希望

シテ居ルノデアリマス、ケレドモソレハ先づ第一段先キノコトニシマシテ免

モ角此祕密ノ弊害ノ行ハル、コトダケハ少クモ今日之ヲ取除イテ内外人ヲ

ク即チ此議事法ニ於テ特別委員ガ調查シタ所ノ報告ヲ聽イテ此議場ニ於テ

可否ノ判決ヲセラル、ガ如ク公平ナル刑事訴訟法ヲ制定セラル、コトヲ希望

シテ居ルノデアリマス、ケレドモソレハ先づ第一段先キノコトニシマシテ免

モ角此祕密ノ弊害ノ行ハル、コトダケハ少クモ今日之ヲ取除イテ内外人ヲ

ク即チ此議事法ニ於テ特別委員ガ調

(太田書記官長朗讀)

頓稅法案兩院協議會委員

伯爵吉井幸藏君

子爵内藤政共君

男爵赤松則良君

中村元雄君

男爵島津珍彦君

男爵小早川四郎君

水野村恒造君

遠君

長谷川貞雄君

磯邊包義君

岡山縣下郡廢置法律案特別委員

子爵中島錫胤君

太祥君

柴原和君

千坂高雅君

子爵平松時厚君

子爵鍋島直柔君

男爵石田英吉君

子爵眞田幸世君

武井守正君

原田一道君

高島信茂君

橋本吉兵衛君

子爵山本實庸君

中村元雄君

廣瀬和育君

岡山縣下郡廢置法律案特別委員

子爵立花種恭君

子爵半松時厚君

子爵鍋島直柔君

男爵石田英吉君

子爵眞田幸世君

武井守正君

原田一道君

高島信茂君

橋本吉兵衛君

子爵山本實庸君

中村元雄君

廣瀬和育君

岡山縣下郡廢置法律案特別委員

子爵立花種恭君

子爵半松時厚君

子爵鍋島直柔君

男爵石田英吉君

子爵眞田幸世君

武井守正君

原田一道君

高島信茂君

橋本吉兵衛君

子爵山本實庸君

中村元雄君

廣瀬和育君

ト思フ或ハ之ニハ餘程疑ガ起ルコトデアラウト思フ或ハ政府カラ買收セラレ
ハシナイカ、或ハ此稅法案ノ如キハ人民カラ委託ヲ受ケヤシナイカト云フコ
トノ疑ト云フモノハ餘程起ルベキ皆デアル、然ルニ此議事法ノ公平ナル委員
会ト云フモノニ十分ニ調べサシテ此報告ヲ舉ゲテ此報告ニ依クテ判断ヲセラ
ルルト云フコトニナツテ居リマス、丁度裁判所ノ豫審公判ト云フ場合モ此ノ如
ク立テラレナケレバ決シテ十分ナルモノトハ言ハレナカラウト思フノデアリ
マス、ソレデ獨逸ノ刑事訴訟法ニ於キマシテハ丁度サウナツテ居ル、豫審

判事ガ調べサウシテソレヲ數人ノ公判判事ノ前ニ持ッテ來テ其報告ヲシテ

可否ノ決ヲ公判判事ニ仰グト云フコトニナツテ居リマス、實ニ公平ナルモノ

デアル、立憲政體ノ上ノ法律ハ總テ此ノ如キ公平ヲ保クテ各國民ヲシテ少シ

モ疑ヲ容ル、所ナカラシムルヤウニ立テラレルノガ最モ適當ナ制度デアラウ

ト思フノデ、現今ノ日本ニ行ハレテ居リマスル所ノヤウナ制度ハ專制政治ノ

トキニ行ハレテ居ル所ノ即チ遺物デアル、殘り物デアル、大ニ此弊害ヲ見テ

居ルノデアリマス、ケレドモソレハ先づ第一段先キノコトニシマシテ免

モ角此祕密ノ弊害ノ行ハル、コトダケハ少クモ今日之ヲ取除イテ内外人ヲ

ク即チ此議事法ニ於テ特別委員ガ調

可否ノ判決ヲセラル、ガ如ク公平ナル信用、威信ヲ保タシメバナラヌト云フコトハ本
員等ノ熱心ニ希望スル所デアリマス、ドウゾ滿場ノ諸君此邊ヲ御参考ニナツ
テ衆議院ニ於テ大多數ヲ以テ可決致シマシタ所ノ此改正案ヲ寛大ナル度量ヲ
以テ之ヲ御容レニナラシコトヲ切望致シマス

(子爵本莊壽亘君發言ヲ求ム)

○議長(公爵近衛篤曇君) 本莊子爵ハ何デス

○子爵本莊壽亘君 私ハ唯今ノ三好君ノニ反對デアリマスカラ意見ヲ述べタ

○議長(公爵近衛篤曇君) フレテハ時刻モ大分迫テ居リマスカラ休憩シマス

午前十一時四十六分休憩

午後一時十三分開議

○議長(公爵近衛篤曇君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

本日二浦安君高島信茂君ヨリ三十八名ノ賛成ヲ以テ 御歴世宮趾保表ノ建

議案ヲ發議セラレタリ

○議長(公爵近衛篤曇君) 今朝御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道
致シマス

スルカラ丁度我國ノ民事ノ調ト同一ナ譯デ彼者ニ是ミノ貸金ガアルニ依フテ
是ダケノ返金ヲ受ケタイト云フ請求ヲ致シマシテ調ニ掛ルノデスカラ民事ノ
調ノ如キモノハ初カラ豫審ニ辯護士ヲ付ケルコトニナッテ居ル、サウスルト
英國ノ仕組ト本邦ノ仕組ト違フテ居ルト云フコトハソレデ明瞭スルコトダラ
ウト思ヒマス、又獨逸ト云フヤウナモノハ一概ニ豫審ニ辯護ヲ附ケルト云フ
ヤウニ申サレマスガソレハ一々制限ガアル、決シテ一概ニ獨逸ニ於テモ豫審
ノ調ニ辯護ヲ付ケルト云フコトニハナッテ居ラナイ、獨逸ノ方デハ検證ノ場
合、是ハ固ヨリ被告人ガ其當時罪ヲ犯シテ居ル現場ノ模様ト云フモノヲ公判
ニ於テ再ビ辯護士ト雖モ之ヲ見ルコトガ出來ナイ、ソレハ即チ人ガ切ラレテ
居ルヤウナ場合トカ檢證ノ場合ト云フモノハ再ビ公判ノ時ニ於テ其實地ヲ見
ルコトガ出來ナイカラ是ニ限シテハ豫審中ト雖モ辯護士ヲ立會セテ検證ノ場
合ニハ見セルト云フ必要ガアル、ソレト一ツハ公判ノ節喚出シテ訊問シ能ハ
ザル者、即チ是ハ老衰病ノ如キモノ、豫審ノ調ニ於テ取調べタ後公判ニ回ル
マデ果シテ其老衰者ガ活キテ居ルヤ否ハ分ラナイ、若シ死ンダトキニハ公判
ノ時ニ再ビソレヲ喚出シテ調ベルコトガ出來ナイ必要ガアル、又既ニ他ニ旅
行セントスルヤウナ者ハ豫審中ニ一旦調ベテソレヨリ他ニ旅行シテ仕舞ヘバ
イマセヌ、一概ニ獨逸ノ豫審ノ調ニハ總テ辯護士ヲ付ケルト云フコトニハイキマセヌカラ是等ノ
再ビ公判ノ時ニ其者ヲ喚出シテ調ベルコトニハイキマセヌカラ是等ノ
調べノ時ニハ豫審中ト雖モ辯護士ヲ喚出シテ調ベル、公判ノ時ニ再ビ喚出シ
テ調ベルコトガ出來ナイト云フ此二件ヨリ外ニ豫審ニ辯護士ヲ立會ハセルコ
トハナニ、其他ニハ獨逸ト雖モ決シテ豫審ニ辯護ヲ付スルト云フコトハゴザ
イマセヌ、一概ニ獨逸ノ豫審ノ調ニハ總テ辯護士ヲ付ケルト云フコトヲ論ズ
ルノハ全ク間違ヒト私ハ思ロマス、又此豫審ニ附イテ辯護ヲ付ケルト云フコ
トニ至レバ從フテ事件ノ延滞スルコトハ當然ノ譯ダラウト思ハレマス、現ニ昨
三十一年ノ調ニ依リマシテモ、十月中ノ調ニ依リマシテモ固ヨリ此刑事ノ公
判ノ調ニアリマスケレドモ公判ノ調ニ於キマシテ辯護士ノ付イタ數ガ千七百
九十一件アツタ、昨年十月中ノ事テアリマスガ、其中辯護士ノ差支ノタメニ
十五件五分ノ割合ニ當フテ居ル位デアル、今ノヤウナ僅ナ公判ダケニ辯護ヲ
付ケルダケデスラ百ニ對シテ二十五件モ辯護士ヨリ延期ヲ請求スルコトニナ
レバ今度豫審ニ辯護ヲ付ケルト云フコトニナレバ餘程事件ハ多クナリ辯護士
セヌケレドモ辯護士ノ差支ノタメニ公判ノ延期ヲ請求シタ者ガ百ニ對シテ二
云フニ於テハ實ニ夥シイコトニナッテ來ルト思ヒマス、サウスレバ豫審ノ調
ニ對スル四十九デゴザイマスカラ三百以上ノ地方裁判所ガ佛國ノ方ハ多イ、
ト私ハ思ヒマス、此佛國ノ如キモノ、裁判所ノ數ヲ申上ダテモ分リマスガ
佛國デハ地方裁判所ノ數ガ三百五十九アル、區裁判ノ數ガ二千八百六十六ゴ
ザイマシタが日本ニ於キマシテハ地方裁判所ノ數ハ四十九アル、三百五十九
ノタメニ延滞シテ被告ハ長ク囹圄ノ苦ミヲ受ケルト云フコトハ免レナイ結果
又佛國ニハ區裁判所ガ二千八百六十六アル所ガ我邦ニ於キマシテハ二百九
八キリカナイ、之ヲ以テモ二千六百ノ餘、佛國ノ方デ我邦ノ區裁判所ノ數ニ
比較シテ見レバ多イ位ニナッテ居ル、是レダケ裁判所ガアリマス爲ニ佛國デ
ハ人口十万四千四百三十人ニ對シテ一地方裁判所ヲ置イテアル、我邦デハ九

十一萬四十七人ニ對シテ一ツノ裁判所ガ持ツテ居ルト云フ譯デアルカラ丁度
佛國ト我邦トヲ比較シテ見レバ十層倍ノ人間ノ數ヲ一區裁判所ガ控ヘテ居ル
ト云フ結果ニナツテ來ル、カラ裁判所ガ佛國ノヤウニ多クアレバ……豫審ニ
假ニ辯護士ヲ付ケルトシテモ十分ナ取調ヲスルコトハ出來マセウケレドモ我
邦ノヤウニ裁判所ガ少クシテ佛國ハ十層倍モアツテ一地方ノ裁判所デ人民ヲ
管轄シテ居ルモノガ豫審ノ調ニ辯護士ヲ付シテ置クト云フコトニナレバ事務
ノ滞滯スルコトハ當然ナ譯デアル、事務ガ滞滯スレバ詰リ被告人ヲ長ク囹圄
ニ入レテ置クト云フ結果ニナツテ來ルカラ從フテ監獄ヲ增築シナケレバナラ
又、地方稅ノ負擔モ重クナツテ來ナケレバナラヌト云フ結果ニナリマスカラ
到底現行ノ仕組デハ豫審ニ於テ辯護ヲ付スルト云フコトハ成シ得ラレナイコ
ト、思ハレマス、殊ニ又一ツハ辯護士ノ地位、品格、財産等モ一ツ我邦ノ當時
ノ現況ニ依ツテ考ヘテ見ナケレバナラヌ、固ヨリ大審院ノ勅任判檢事等ヨリ
シテ辯護士ヲナサテ居ル人ハ是ハ格別デゴザイマスケレドモ今日マデ書生
デ居ル者ガ一朝辯護士ノ試験ニ及第シテソレ等ガ扱フ仕事モ十分考ヘテ見ナ
ケレバナラヌコト、思ハレマス、何モ此豫審ニ辯護ヲ付スルト云フコトヲサ
ウ早急ニ爭フテ僅カ半年モ待タレナイ、茲デ速ニ改正シテソレダケノコトヲ
刑事訴訟法中ニ附加ヘフシナケレバナラヌト云フヤウナ不完全ナコトハ決シ
テスルニハ及ブマイト思ヒマス、故ニ尙本此度ハドコマデモ衆議院案ヲ否決
シテ尙ホ政府ニ於テハ十分取調ノ上デ次ノ議會ニ於テ此刑事訴訟法全體ノ仕
組ヲ改正シテ差支ナイ限ハソレ等ノ法モ設ケラレテ行ク方ガ私ハ宜シイト思
ヒマスカラ此衆議院案ニハ反対スルノデアリマス、ドウカ諸君ニ於キマシテ
モドウカ此衆議院ノ改正案ニハ反対ニナルコトヲ切ニ望ンテ置キマス

○子爵高野宗順君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論終結ノ動議ガ出マシタガ、別ニ通告者モナイン
決シマシタ、就キマシテハ協議會ノ要求ヲ規則上スルコトニナリマス、協議
會委員ノ數八十名以下ト云フコトニナツテ居リマス、大抵慣例ハ十人ト云フ
即チ衆議院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

モドウカ此衆議院ノ改正案ニハ反対ニナルコトヲ切ニ望ンテ置キマス

○子爵高野宗順君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論終結ノ動議ガ出マシタガ、別ニ通告者モナイン
カラ自カラ討論終結ニナリマス、ソレデハ採決ヲ致シマス、衆議院ノ回付案、
コトニナクテ居リマスカラ十人ト云フコトニ御異議ガナケレバ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 小笠原子爵ノ議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 其選舉ハ議長ニ委託致シマス

○子爵小笠原壽長君 〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) カラ別段ニ御異議ガナクバ次ノ議案ニ取掛リマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案、政府提出、衆議
院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告……委員長ハ今退席中テゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 外國人ノ抵當權ニ關スル法律案、政府提出、衆議
院送付、第一讀會ノ續、特別委員長ノ報告

○議長（公爵近衛篤磨君） 討論終結ノ動議が出マシタガ、別ニ通告者モナイカラ自カラ討論終結ニナリマス、ソレデハ採決ヲ致シマス、衆議院ノ回付案、即チ衆議院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○起立者 少數

○議長（公爵近衛篤磨君） 少數ト認メマス、是ハ同意ヲシナイト云フコトニ決シマシタ、就キマシテハ協議會ノ要求ヲ規則上スルコトニナリマス、協議會委員ノ數ハ十名以下ト云フコトニナクテ居リマス、大抵慣例ハ十人ト云フコトニナクテ居リマスカラ十人ト云フコトニ御異議ガナケレバ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤磨君） ワレデハ其選舉ヲシナケレバナラヌデスガ……

○子爵小笠原壽長君 其選舉ハ議長ニ委託致シマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤磨君） 小笠原子爵ノ議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤磨君） 國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告……委員長ハ今退席中テゴザイマスカラ別段ニ御異議ガナクハ次ノ議案ニ取掛リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤磨君） 外國人ノ抵當權ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長ノ報告

○伯爵大原重朝君 是モ同一委員ナヤト思ヒマスガ……
○議長(公爵近衛篤麿君) 是モ同一ノ次第ゴザイマスカラ跡ニ回シマス、
葉煙草專賣法違犯事件ニ關スル法律案、政府提出衆議院送付、第一讀會ノ續、
特別委員長報告

○中村元雄君演壇ニ登ル
〔中村元雄君演壇ニ登ル〕
中村元雄君此法律案ハ簡単ナモノデゴザイマシテ且ソ襲ニ兩院ノ協賛ヲ經マシテ過日法律トナリマシテ發布ニナリマシタ所ノ葉煙草專賣法改正ノ申サバ附隨シタル法律ト申シテモ宜シイモノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ別段大シタル討論モゴザリマセズ、之ヲ可決スベキモノト認メマシテ滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタル簡単ナル法律デモアリマスルシ又前ノ改正葉煙草法律案ノ實施上ニ必要ナモノデモゴザイマスルシスルカラドウカ讀會ノ省略ヲ以テ議決アランコトヲ偏ニ希望致シマス

| | |
|-------------|----|
| ○○○子爵小笠原壽長君 | 賛成 |
| ○○○子爵大原重朝君 | 賛成 |
| ○○○子爵青木信光君 | 賛成 |
| ○○○松永安彦君 | 贊成 |
| ○○○子爵山井兼文君 | 贊成 |
| ○○○子爵高野宗順君 | 贊成 |
| ○○○男爵金子有卿君 | 贊成 |
| ○○○子爵平松時厚君 | 贊成 |
| 伊澤多二君 | 贊成 |

○菊池長四郎君 贊成
○議長(公爵近衛篤磨君)
ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認ヌマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ナクバ原案ニ決シマス

○議長（公爵近衛篤磨君）　水難救護法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ
續、特別委員長報告

○伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル
(伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル)
此はマデノ海難ニ關スル法規ハ明治三年カラ明治十年マデノ間ニ度々出テ居

リマスルガ其中デ或ハ外國ノ船ノ難破致シマシタコトニ附キマシテ規定シタノモゴザリマスルシ、又内國船ノ難破致シマシタルトキノコトニ附キマシテノ法規モゴザイマスル、別ニニナツテ居リマスルノミナラズ甚ダ不備ノ點モ多

ウコサイマスルノテ之ヲ拵出サレ、ミク理由ハ一テコサイマスツレカラ此條約ガ改正ニナリマシテソレニ附キマシテ是ニモ亦關係スル所ガゴザイマシテソレニ重ニ其條約ニ關係致シマシタ所ハ難破致シマシテ救護致シマシタトキノ費用ニ關係スルコトガ多イノデゴザイマスル、ソレカラ今度條約ガ改正ニナリマシテモ從來ノ特別條約ト云フ中ニ水難ノ救濟ノコトガ

規定シタモノガアルソウデゴザイマスガサウ云フ特別條約ハ今度ノ新條約ガ出来マシテモ依然ト殘ルモノモアルサウデゴザイマス、此商法ニ關係致シマシタコトハ此船長ノ權限ガハツ切リ極リマシタノデ矢張サウ云フコトニ關係致シマンシテ此法案ガ此三法案ヲ關聯致シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ前ノ致シマシテ此法案ガ此三法案ヲ關聯致シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ前ノ

不備ト今二ツノ條約改正ノ……改正條約ト商法が今度改メテレマシタニ附キ
マシテ之ヲ出サレマシタル理由ニナツテ居リマスルガ從來ノ水難救護ニ關係
致シマスル法規カラ見マスルト餘程簡便ナモノ、ヤウニ思ハレマス、ソレデ
委員會ニ於キマシテモ十分審議致シマシタガ別段修正モゴザイマセズ全會一
致デ可決スペキモノト決議致シマシテゴザイマスルカラドウゾ諸君モ原案通
御賛成下サイマシテ速ニ通過ヲ計ラレンコトヲ希望致シマス
○子爵小笠原壽長君 此法案ハ唯今委員長カラモ報告ガアリマシタ通此委員
ニ於キマシテ修正モナイ趣デゴザイマシテ衆議院決議ノ通異議ナイ趣デゴザ
イマスカラ本員へ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ヲ提出致シマス

○子爵本莊壽臣君
○子爵生駒親忠君
○男爵金子有卿君
○子爵堤功長君 贊成
○子爵錦織教久君 贊成
○伯爵勸修寺顯允君 贊成
○伯爵大原重朝君 贊成
○子爵山本實庸君 贊成
○子爵京極高典君 贊成

○議長（公爵近衛篤磨君）讀會省略ノ動議ハ成立チマシタ、是ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略致サレマシ
タ、御異議ナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤齊君)此際チヨット御報告致シマスルガ由利子爵ガ病氣ニ附イテ動産銀行法案ノ特別委員ヲ辭シタイト云フコトデゴザイマスガ御異議

諸君ナクハ許可致シマス
就キマシテハ其補闕ヲ選舉せバナラヌテアリマ
スガ此委員ハ議長委託デアリマスカラ
議長ニ於テ此補闕ヲ指名スルト云フニ
御異議ハゴザイマセヌカ

○議長（公爵近衛篤磨君）然ラバ林子爵ヲ煩シマス、ソレデハ議事日程ノ第
七ニ戾リマシテ國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第
一讀會ノ續、特別委員長報告

○子爵舟橋遂賢君（演壇ニ登ル）
國籍喪失者ノ権利ニ關スル法律案特別委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、去ル土曜日ニ開會致シマシテ其案ニ附キマシテ一應政府委員會ノ辯明ヲ聞キマシテ全會一致ヲ以テ可決シマシタ、此案ハ即チ民法ニ於テ日

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關ス
ル法律案、衆議院提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關ス
ル法律案及送付候也

明治三十二年三月三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關ス
第一條 監獄ニ關スル費用ハ總テ國庫ヨリ支辨ス

第二條 府縣監獄ニ屬スル土地建物器械器具品製品其ノ他ノ物件ハ本法
施行ノ日ヨリ國庫ニ屬ス

第三條 本法ハ明治三十三年十月一日ヨリ施行ス

○西村亮吉君 本案ニ附イテ去ル三日大藏大臣ガ衆議院デ述ベラタ中ニ此
監獄費ガ通過スルト新ニ稅源ヲ求メナケレバナラスト云フコトヲ言ハレテ居
ル、ソレデ之ガ通過スル以上ハ將來歲出ノ上ニ附イテ不足ガ生ズルモノト看

ナケレバナラヌ、就テハ其稅原ガ出來マシタ以上ハ其節ハ協贊ヲ與ヘラル、
デアラウト云フコトヲ言ハレテ居ル右ニ附イテハ大藏大臣ニ尙ホ質問ヲ致シ
タウゴザイマス、大藏大臣ハ出席ヲセラレテ居リマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 大藏大臣ハ出席ニナツテ居リマセヌ

○西村亮吉君 大臣カラ此理由ニ附イテ一應答辯ヲ得タイト思ヒマス

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 大藏大臣ハ今日據ロナク用事デ近在マデチヨット
參ラレマシタ三時頃ニハ歸ルト言ハレマシタガマダ歸テ來ラレマセヌ

○西村亮吉君 ソレデハ政府委員ニ質問ヲ致シマス、此監獄費ノコトニ附イ
テハ曩ニ地租增加ノ案ニ委員會デ安場君ガ大藏大臣ニ向クテ此監獄費ハ國庫
支辨ニハ三十三年度カラナサレルカト云フコトヲ質問サレタ、其時ニ大藏大

臣ハ中ミサウハ參ラヌト云フヤウニ答ヘラレタカノヤウニ考ヘテ居リマス、
ソコデ去ル三日ニ此案ヲ衆議院デ提出ニナツタトキニ大臣ガ申サレテ居ルノ
ニ三十三年度ハ下半期カラ施行ニナルニ因テ土木費補助費ニ充テル金ヲ持ッ

テアラウト云フコトヲ述べラレタノデアリマス、成ル程此十年計畫ヲ見マス
ルト十年計畫ニハ三十三年度カラ監獄費ヲ國庫支辨ニスルト云フコトニナツ
テ居ルヤウデゴザイマス、然ルニソレハ最初地租百分ノ四ト云フガ通過スル
ノ見込デアラウトモノト思ハレル、サウスルトチヨクト此百分ノ三、三ニナツタ
タメニ千六十万圓三十三年度ニ歲入ガ達フヤウニ思ハレマス、シテ見ルト果

シテ此監獄費ノ國庫支辨が通過スルト新ニ財源ヲ求メルノ外致方ガナイト云
フ御見込デアリマセウカ、ソレヲ伺シテ置キマス

○政府委員(阪谷芳郎君) 西村君ニ御答ヘ致シマスル、序ニ少シ政府ノ意向

ヲ申シテ置キマセヌト何デゴザイマスカラ少シク詳細ニ申上ダヤウト思ヒマ
ス、此監獄費ハ元々國庫支辨デゴザイマシタガ明治十三年以後地方ノ支辨ニ
移ツテ居リマス、ソレデ之ヲ國庫ノ支辨ニ移シタイト云フコトハ段々近來政府
ニ於テモ其議論モゴザイマスルシ曾テ政府カラ議院ニ向クテ協贊ヲ求メタコ
トモゴザイマス次第デ成ルベク是ハ國庫ノ支辨ニ移シテ置ク方ガ行政上ノ統
一ニ於テモ其宜シキヲ得タモノニアリ、又地方ノ制度ト甚ダ密著シタモノデ
アルカラニ條約實施ノ上ニ於キマシテ猶更監獄ヲ改良スルト云フコトガ急務
ニアル、旁々監獄費ハ國庫ニ移シタイト云フ考ヲ政府ニ於テモ持ツテ居リマシ
タノデ、ソレ故ニ此三十二年度ニ於キマシテ増稅ノ計畫ヲ致シテ政府ハ三十
三年ノ四月一日カラ監獄費ト云フモノヲ國庫支辨ニスルト云フ計畫ヲ以テ議
院ニ向クテ協贊ヲ仰イダ次第デゴザイマシテ財政ノ計畫ガ政府豫期ノ通ニ參
リマスレバ無論政府カラ此法律案ヲ提出シテ協贊ヲ仰ギマスト云フ計畫デゴ
ザイマシタ、然ル所ガ御承知ノ通ニ地租ハ百分ノ四ト云フ率ヲ衆議院ニ於キ
マシテ百分ノ三三ト云フコトニ改メマシタガタメニ之ヲ年額ニ致シマスルト
云フト凡ソ九百万圓ノ減少ニナリマス、其地租ヲ減ジマシタ代リニ更ニ衆議
院ハ政府ノ第二ノ補填案ト云フモノヲ協贊ヲ致シマシタガタメニ收入ト云フ
モノガ他ノ財源ニ於テ増スコトニ相成リマシタケレドモ尙本地租ノ減額ヲ差
引キマスト云フト凡ソ四百万圓減シテ居リマス、此ノ如キ有様デゴザイマシ
タカラニ政府ニ於キマシテハ此三十三年ノ實施ノコトデアルカラニ先づ此姑
ク提出ヲ見合ハセマシテ歲入ノ上ニ餘裕ト云フモノガアルト云フ見据ヘガ
付イタナラバ更ニ此法律案ヲ提出シヤウト云フ考デ一旦監獄費國庫支辨ノ法
律案ヲ政府カラ提出スルコトハ見合ハセニ致シマシタ、然ル所ガ此衆議院ノ
方カラ此國庫支辨ト云フコトノ希望ノ聲ガ高ウゴザイマシテ遂ニ法律案トシ
テ提出シテ可決スルニ至リマシタ、其理由ハ此監獄費國庫支辨ト云フ問題ハ
久シク宿題ニナツテ居ルガタメニ地方デハ本年ハ國庫支辨ニナルカ來年ハ國
庫支辨ニナルカト云フヤウナコトデネッカラ監獄ノ改良ノコトノ方ハ熱心ト
云フコトガナイタメニ是マデ既ニ不完全ナ監獄ガ段々腐朽致シマシタリ中ニ
ハ舊藩時代カラ引繼イデ参リマシタ監獄ナドガアルサウデゴザイマス、是ハ
私ハ内務省ノ者デゴザイマセヌカラ悉シクハ存ジマセヌガサウ云フ粗末ナモ
ノマデモ改良ヲ怠ルト云フコトデアルカラ免ニ角、國庫支辨ノ問題ハ早ク決
シテ貰ヒタイ、且ツ又三十三年ノコトヲハ今日議スルト云フコトハ早イト云
フコトデアルガ府縣會ニ向クテ府縣知事ガ豫算ヲ出スノハ此暮ニ出サヌケレ
バナラヌ譯デアリマスカラ今日ニ於テ此問題ト云フモノガ決シテ居ラヌト云
フト大キニ地方ノ經濟ノ豫算ヲ編製スル上ニ於テ差支ヘルコトデアルカラ
旁々政府ニ於キマシテハ監獄費ヲ國庫支辨ニシタイト云フ意思ヲ有ツテ居ル
以上ハ速ニ此事ニ同意シタイト云フコトデアリマシタ、段々政府ニ於テ経費
シテ見ルト三十三年十月カラ實施ニナレバ丁度三十二年度ニ於テハ半額ダケ
経費ガ減ズル、サウ致シマスレバ監獄費國庫支辨ノタメニ要スル費用ガ五百
万圓カ、リマスガ其中百万圓ハ監獄ニ附屬シタ收入ガアル、ソレヲ差引キマ
スト丁度四百万圓租稅ノ方カラ支出セネバナラヌ、其四百万圓ト云フノハ三
十三年四月一日カラ實施スルトナルト全部ヲ支出セネバナラヌガ十月一日カラ
ラ實施ニナレバ半分デ濟ムカラ三十二年度ニ於テ二百万圓ダケ國庫カラ支出
スレバ此法律案ヲ通過シテモ差支ナイ、故ニ過日大藏大臣ガ答辯サレタ通ニ

百万圓ト云フモノハ政府が償金繕替其他水害土木費補助ノタメニ一時借入レ
タ借入金ノ返済ニ充テ、アルモノヲ一年延シテ監獄費國庫支辨ハ政府ニ於テ
ハ必要ト認メテ居ルカラ三十三年十月ヨリ施行シヤウ、而シテ三十三年度ニ
ナルト即チ四百万圓ノ支出ニナルカラニ先づ他ノ歳入ガ増加セヌト云フコト
ニナルト今日ノ政府ノ立テ、居ル算當ノ上カラ申セバ衆議院ノ協賛シタ財源
ガ當初ヨリ四百万圓減シテ居ルカラ不足ヲ生ズルダラウ、不足ノ生ジタ場合
ハ財源ヲ更ニ求メマシテ協賛ヲ仰ガウト云フ答辯ノ有ツタ次第デゴザイマ
ス、サウ云フ行キ掛リニナッテ、居リマス、此段申上ゲテ置キマス

○西村亮吉君 尚ホ御尋イタシマスガ、サウスルト行キ掛リ上、不足ヲ生ジ
タラ別ニ財源ヲ求メルト云フ御見込デアリマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答ヲ致シマス、三十三年後ハ四百万圓ヲ要スル
カス今日ノ計算ノ儘デアルト、ドウシテモ不足ガ生ズル勘定ニナル、併シ他
ニ財源ガ生ズレバ必シモ増税ヲ求メルコトニハナリマセヌケレドモ今申ス通
政府ノ經畫ニ比較シテ見ルト四百餘万圓減シタ計算ニナッテ居リマスカラ其
時ニ臨ンデ歳入ニ不足ガ生ズレバ或ハ他日財源ヲ求メル必要ガアルト云フコ
トデアリマス、三十三年後ノコトハ今カラ見ルト遠イコトデアリマスカラ豫
想ニ屬スルコトデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ右ノ如キ主意ヲ以テ此案
ニ同意ヲ致シタ次第デアリマス

○谷森真男君 本員モ少シ政府委員ニ御尋ネヲ致シマス、今ノ御答デハ三十
三年度ハ十月一日以後、シカモ下半期デアルカラ凡ソ五百万圓カ、ル中デ百
万圓バカリ收入ガアツテ跡ガ四百万圓カ、ル、ソレハ三十三年度下半期デア
ルカラ風水害土木費ノ金ヲ延シテ此方ニ充テル、ソレデ三十三年度ハイケル
ガ三十四年度以後ハ見込ガナイト云フヤウニ大藏大臣ハ述べテゴザルヤウニ
速記録ヲ見テモアリマスガ、今ノ御答トハ少シ違フ様デアリマスガ、モウ少シ
ハツキリト承リタウゴザイマス

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 三十四年ノコトニナリマスレバ今私ノ申シマシタ
主意ト大藏大臣ノ申サレタ主意ト變ッテ居リマセヌト存シマス

○谷森真男君 今ノ御答デハ分リマセヌ、モウ少シ明瞭ニドウゾ……

(松岡康毅君演壇ニ登ル)

○松岡康毅君 諸君、唯今議題ニ上リマシタ議員ノ選舉及被選舉資格ニ關ス
ル法律案、本案特別委員會ノ經過及結果ヲ御報道致シマスガ、特別委員ニ於
キマシテハ出席數ノ全會一致ヲ以テ本案ヲ可決致シタコトデゴザイマス、此
案ハモウ誠ニ明ナ案デゴザイマス、諸君ノ能ク御承知モゴザイマスル通唯
今ノ各種ノ法律中納稅ヲ以テ選舉人竝ニ被選舉人ノ資格ニ算ヘテゴザイマス
モノハ何レモ一年以上トカ或ハ金額デ申セバ何圓以上トカ申スコトニナッテ
居リマスルケレドモ何分法律ノ文字ノ稍不明瞭ノ故カ裁判例ニ於キマシテ
實際上間ミ不都合ナコトヲ見出シタノデアリマス、他デハゴザイマセヌ登
記ノ濟デ居ナイモノモ土地臺帳ニ書イテナイモノモ賣買ヲシタ云フ證文一
ツ、私ノ證書サヘ持ツテ參ルト直グニ買取タト云フ人ノ資格ニ數ヘル、サウ
シテ然レバ租稅ハ何時カラ納メテ居ルト云フコトガ間ミアルノデアリマス、
味ヲスル致シマシテモ其賣タ人ガ納稅シテ居ラテモ即チ買タ人ガ納稅シ
テ居ルガ如クノ分解デ結局其實ハ一年以上又ハ二年以上土地ヲ持チ納稅ヲシ
テ居ルノデナイ人が議員ノ資格ヲ得ルト云フコトガ間ミアルノデアリマス、
其邊ヲ防ギマスルタメニ此法案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、第二項ノ
分ハ是ハ衆議院ノ選舉法ノ施行規則ノ所ニ此コトハ出テ居リマスガ、其外ノ
市町村其他ノ法律ニ於テハ明文ガアリマセヌガ其邊ハ間ミ判決例採用ハ凡ツ
極シテハ居リマスルケレドモ矢張法律ニ於テ明ニシテ置ク方が大ニ宜カラウ
ト云フノデ合セテ記載シタノデアリマス、右ノ通至ラテ簡單ナモノデゴザイマ
スカラ全會一致デ委員會デハ可決致シマシタ、就イテハ斯ク簡單ナモノデゴ
ザイマスカラ何卒諸君モ讀會ヲ省略シテ直ニ確定議ニ御賛成アランコトヲ希
望致シマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○鶴谷森眞男君 先刻ノアトノ御答辯ハ三十三年度ノコトノヤウデアリマシタ
ガ

○政府委員(阪谷芳郎君) 其點ニ於キマシテハ別ニ相違ハアリマセヌ、即チ
私ハ先刻詳細ノ計算ヲ申シタマケデ、主意ニ於テハ大藏大臣ノ申サレタ所ト
違ヒハアリマセヌ

○谷森眞男君 先刻ノアトノ御答辯ハ三十三年度ノコトノヤウデアリマシタ
ガ

○政府委員(阪谷芳郎君) 其點ニ於キマシテハ別ニ相違ハアリマセヌ、即チ
私ハ先刻詳細ノ計算ヲ申シタマケデ、主意ニ於テハ大藏大臣ノ申サレタ所ト
違ヒハアリマセヌ

○角田林兵衛君 贊成

○中山文樹君 贊成

○中西光三郎君 贊成

○非狩獵左衛門君 贊成

○伯爵坊城俊章君 贊成

○子爵堤功長君 贊成

(其他) 贊成「ト呼フ者アリ」

○議長(公爵近衛篤磨君) 読會省略ノ動議ハ成立チマシタ、之ニ贊成ノ諸君

ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシ

ダ、次ニ本案ハ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ニ東海道鐵道

複線工事速成ノ請願會議

○岡内重俊君 例ニ依テ此請願モ一括シテ問題ニ供セラレンコトヲ希望致

シマス、其中異論ノアル請願ハ其請願ニ附イテ議決セラレンコトヲ望ミマス、

尙ホ午前ノ報告ノ際ニヨット豫言致シマシタ通削除ヲ要求致シマスル分ガ

ゴザイマス、其件ハ第十五、第十六、第二十一、二十四、第二十九、第三十二、

此六件ハ前決議ノ例、又法案ヲ委員ノ手ニ付シテ今審査中故ニ是モ亦前例ニ

依テ其削除ヲ要求致シマス、其削除ノ要求ガ議場デ承認ヲ得マシタナラバ

チヨット一箇條第二十七ニ附イテ聊カ辯明致シテ置キタウゴザイマスル故ニ

削除ニ附イテ御承認ハ上テ其辯明ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 二十七ハ削除ニナルノアリマスルカ、ナリマセ

スカ

○岡内重俊君 是ハナリマセヌ、削除ハ今申上ゲタ通六件デゴザイマス

○男爵渡邊清君 此二十七ノ内國勸業博覽會ト云フコトハ既ニ先達ヲテ大阪

ト云フ方デ此所ヲ通過シテ出テ居ルヤウデスガ……

○岡内重俊君 チヨット演説中デアリマスガ唯今本員ヨリ要求シマシタ六箇

條ノ請願ハ承認ヲ得ルヤ否ヤガ極マス、然ル上今渡邊男爵ノ議ニ及ブノデアリ

マス

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今請願委員長ヨリノ話ノアリマシタ、第十五第

十六第二十二第二十四第二十九第三十三、是ダケノ請願ヲ削除スルト云フニ

御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○岡内重俊君 第二十七……

○議長(公爵近衛篤磨君) チヨット岡内君御侍子下サイ此問題ヲ残シテ外ノ

ト本員ハ意見ヲ述ベタイ採決ノ前ニ附キマシテ本員ハ第四十ノ賣藥印紙廢止

ヲテ然ルベキモノト思ヒマス、ト申シマスルモノハ段々租稅ノコトガ出マシタ

ニ決シテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○三宅秀君 此後ノヲ一括シテ表決サル、ナラバ其末ノ四十二隋イテチヨツ

ト本員ハ意見ヲ述ベタイ採決ノ前ニ附キマシテ本員ハ第四十ノ賣藥印紙廢止

ノ請願ト云フコトハ矢張是モ今日其他ノモノト同シヤウニ削除ノ方ニ入レラ

テ先ニ致シマセウ、此第二十七ヲ残シテ後ノ請願ハ皆採擇スペシト云フコト

ニ決シテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○三宅秀君 此後ノヲ一括シテ表決サル、ナラバ其末ノ四十二隋イテチヨツ

ト本員ハ意見ヲ述ベタイ採決ノ前ニ附キマシテ本員ハ第四十ノ賣藥印紙廢止

ノ請願ト云フコトハ矢張是モ今日其他ノモノト同シヤウニ削除ノ方ニ入レラ

テ先ニ致シマセウ、此第二十七ヲ残シテ後ノ請願ハ皆採擇スペシト云フコト

ニ決シテ御異議ハゴザイマセヌカ

モウ御決シニナリマシタカ
○議長(公爵近衛篤磨君) 全ク決シタト云フ譯デハアリマセヌガ異議ナシト
云フ聲ヲ聞キマシタバカリデアリマス
○三宅秀君 ソレナラ御決シニナリマスル前ニ一括シテ此第四十ヲ……
十ヲ除イタ部分ダケ採擇スペシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレナラ三宅君チヨット御待チ下サイ、二十七ノ
方ヲ先ニ片付ケテシマヒタウゴザイマス
○岡内重俊君 此第二十七ノ第五回内國勸業博覽會ニ關スルノ請願ノコトニ
附イテチヨット御注意ノタメニ簡短ニ辯明ヲ致シテ置キマスガ、此請願ハ東
京ニ博覽會ヲ設ケラレタイト云フ請願デゴザイマスルガ、其前一月二十六日
第二回ノ請願文書表報告ノ時分ニ大阪ニ博覽會ヲ開設スルト云フ請願ガ出マ
シテ、是ハ議場ノ多數ヲ得テ通過致シテ居ル後ニ今日此所ニ又東京ニ博覽會ヲ開設サレタイト云フ請願
願が通過シテ居ル後ニ今日此所ニ又東京ニ博覽會ヲ開設スルト云フ請願
ヲ採擇スルノハ前後矛盾アラウト云フコトニ附イテ委員會ニ於テハ多少議
論ガゴザイマシテ遂ニ委員會ノ決議ノ結果本議ニ付スルコトニ至リマシタ、
順序ヲ御注意ノタメニ陳述致シテ置キマス

(「ドウゾ簡短ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

委員會ノ議ノ模様ハ大阪ヘ既ニ博覽會ヲ設ケルト云フコトノ請願が通過シテ
以上ハ東京へ設ケルト云フ請願ヲ採擇スルノハ矛盾スルニ依テ是ハ採擇ス
ベキモノデハアルマトイト云フ論者ガ委員ノ中ニ澤山ゴザリマシタ、又之ニ反
シテ免ニ角是ハ博覽會ヲ設ケタイト云フノ請願デアル、博覽會ヲ設ケラレタ
シテ云フ請願デアル、即チ大體デアル、依テ議院法ノ規則ニ於テ大體ヲ採
ベシ、東京ニ設ケルト云フ之ニ附帶シタ一ノ請願デアルカラ是ハ参考ノ
意味ヲ含ンデ居ルカラ採擇シテ政府ヘ送付シテ宜カラウ、シテ見レバ大阪ノ
方ハ参考ノタメニ政府ニ送付シ又東京ニモ設ケルト云フ分モ参考トシテ送付
スル意味ヲ含ム、唯博覽會ヲ設ケラレタイト云フノが大體請願ノ趣旨デアル
カラ是ハ政府ニ取テモ議院法ノ規定ニ反セズ即チ参考スベキモノデアル、

依テ本議ニ上ボセテ公平ナル御採決ヲ受ケタイト云フ斯ウ云フ議論ガゴザ
イマス、其雙方ノ議論ヲ致シマシテ遂ニ議決ニ採リマシタ所ガ本議ニ載セテ
スル意味ヲ含ム、唯博覽會ヲ設ケラレタイト云フノが大體請願ノ趣旨デアル
カラ是ハ政府ニ取テモ議院法ノ規定ニ反セズ即チ参考スベキモノデアル、

如何ヤウニモ滿場諸君ノノ多數ノ御意向ニ依テ公平ナル御判決ヲ受ケタ
ル故ニ一應此委員會ノ審議ノ模様ヲ御注意ノタメニチヨット陳述ヲ致シテ置
キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二十七ハ採擇スペシト決シテ宜シウゴザイマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵近衛篤磨君) 第四十四
○三宅秀君 此前ニモ此賣藥印紙廢止ノ案が出マシテゴザイマスガ丁度其節
ニハ本員ガ退席致シテ居リマスル間ニ通過致シテシマヒマシタ、併シ本日又
是ガ會議ノ議題トナツテ出マスレバ是非是ハ今日削除シテ政府ヘ出サレルコ

トヲ見合セラレルガ宜カラウト云フ考ヲ持テ居リマス、ソレト申シマスルモノハ追々増税杯モ出テ居リマスル隨分醤油稅郵便稅ノ如キハ之ヲ増徵シマスルコトハ餘程無理ナコトデアラウト存シマシタガ、ソレスラ今日デハ兩院通過シテ增徵ニナツテ居リマスル場合デアリマス、此賣藥稅ハ今日ノ有様デハ格別苛稅ト云フ程デモゴザイマセスト存ゼラレマスカラ、之ヲ廢止シマスルト云フコトハ理由ガナカラウカト思ヒマス、ドウゾ此請願ハ政府ニ送ラレルコトハ本員ニ於テハ御見合セニナリタイト云フ希望ヲ持テ居リマス

○中西光三郎君 チヨット請願委員長ニ御尋ヲ致シタウゴザイマスガ此賣藥印紙廢止ノ請願ハ賣藥印紙ノ法ヲ廢シテ是ニ換フルニ賣藥一方劑ニ就イテ何程ト云フ稅ヲ課セラレタイト云フ趣意デアツカト思ヒマスガ、一應御答辯ヲ願ヒマス

○岡内重俊君 唯今他ノコトニ附イテ書記官ヨリコトヲ聞イテ居リマシテ中西君ノ御述べハ聞キマセナカツタガ今一應ドウカ、ドウ云フコトデゴザイマシタカ

○中西光三郎君 賣藥印紙廢止ノ請願デゴザイマス、是ハ此日程ニ書イテアリマス所デハ全ク印紙稅ヲ廢止ニスルト云フヤウニ見エマスケレドモ此請願ノ事實ハ印紙ノ法ヲ廢シテ是ニ換フルニ賣藥一方劑ニ附イテ何程ト云フ課稅ヲセラレタイト云フ請願デアツカト思ヒマスガ其邊ノ御答辯ヲ願ヒタウゴザイマス

○岡内重俊君 請願書ハ此所ニ持テ居リマセヌガ、此文書表ニ「賣藥八人生缺クヘカラサルモノナルニ印紙稅則ヲ發布セラレ營業者ノ困難ナルノミナラス費消者ノ窮苦ヲ増スモノナレハ之ヲ全廢セラレタシトノ請願」是ガ請願ノ要旨ヲ摘要シテゴザイマスルガ此意味デ見ルト兔ニ角廢止ト云フコトノ精神ノヤウニゴザイマス、是ハ前ノ請願會議ノトキニモ兔ニ角参考ノタメニ政府ニ送付フシャウト云フコトハ別段ニ請願ノ規定ニ反セズ矢張哀願ノ體ヲ備ヘ總テ請願ノ規定ニ背カヌ限ハ先例ニ依クテ出サウト云フノガ多數デ此日程ニ上ボルヤウニ進ンダノデゴザイマスガ、成程三宅君ノ御論ハ是ハ一應御尤デゴザイマスガ、此條ハ兔ニ角院議ニ付シタ次第デアリマスカラ是亦如何ヤウトモ滿場多數ノ御意見次第デ如何ヤウトモ公平ナル御議決ヲ願ヒマス

○三宅秀君議長

○議長(公爵近衛篤脣君) 三宅君ハ何デスカ

○三宅秀君 唯今特別委員長カラ

○議長(公爵近衛篤脣君) 二回ノ辯明ハ差支ヘマスガ

○三宅秀君 委員長カラ質問ニ答ヘラレマシタガ、本員ハ是ハ削除シタイト云フ意味ヲ申シマスル前ニ豫テ請願書ノ本書ハ見マセヌケレドモ意味ヲ明ニシテ居リマスカラ之ヲ削除シタイト云フコトヲ申シタノデアリマス、即チ印紙稅則ヲ全ク廢シテシマヒタイト云フノデアリマス、印紙稅徵稅ハアツテモ宜シイケレドモ其稅ヲ換ヘテ欲シ、藥方ニ附イテ取テ貰ヒタイト云フ請願デナクシテ賣藥稅ヲ全ク廢シテ貰ヒタイト云フ精神デアリマス、ソレヲ調ベテ參リマシタカラ之ヲ削除シタイト云フコトデアリマス

○子爵小笠原壽長君 本員ハ是ハ政府ニ送ケタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ナセト云フニ此前モ此請願ニ附イテハ貴族院ヲ通過シタコトモゴザイマス、又賣藥印紙ノコトニ就キマシテハ餘程此賣藥ヲ營業致シテ居リマス者ノ困難ノ

事情モ私ハ聞込ンデ居リマス、其コトハ長クナリマスカラ述ベマセヌガ、斯ウ云フ此賣藥營業ヲ致シテ居ル者ニモ斯ウ云フ意思ガアルト云フコトヲ政府ニ知ラシテ置クコトハ至極宜カラウト思ヒマスカラ本員ハ政府ヘ送ツタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 賣藥印紙廢止ノ請願ヲ採擇スペシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 賣藥印紙廢止ノ請願ヲ採擇スペシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 少數ト認メマス、ソレデハ是ハ採擇スペカラズト決シマス、先刻御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告致シマス

(太田書記官長朗讀)

刑事訴訟法中改正法律案協議會委員

| | | | | |
|--------------------------------|---------|---------|----------|-------|
| 子爵新莊直 | 陳君 | 子爵青木信 | 光君 | 男爵本田親 |
| 三浦安君 | 渡邊洪基君 | | | 村泰藏君 |
| 周布公平君 | 村田保君 | 鮫島武之助君 | | |
| 山田卓介君 | | | | |
| 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案特別委員 | 子爵鍋島直彬君 | 子爵曾我祐準君 | 子爵三島彌太郎君 | |
| 男爵有地品之允君 | 男爵紀俊秀君 | 男爵吉川重吉君 | | |
| 湯地定基君 | 伊澤修二君 | 高橋喜惣治君 | | |
| 日ハ散會 | | | | |

午後二時二十九分散會